

令和7年度(2025年度)

前期 シラバス

熊本県立農業大学校

令和7年度(2025年度)講義時間割 前期(4月～9月)

1年生(48期生)

		月曜日				火曜日				水曜日	
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官		
1年 (48期生)	1限	食品加工論 全 CR 6 松本				農業基礎概論 ★ CR 6				体 育	
	2限	農業基礎概論 ★ CR 6				英語コミュニケーションⅠ ① CR 4 大西				生 物	
	3限	経営実習				英語コミュニケーションⅠ ① 視聴覚 木村				基礎農業	
	4限	経営実習				経営実習				経営	

2年生(47期生)

		月曜日				火曜日				水曜日
		コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	
2年 (47期生)	1限	体育 全 グラウンド 体育館(視聴覚室) 平野 本郷				情報処理Ⅲ	農果畜産 ⑥	PC	大和	経営
	2限	国際農業論 ⑤ CR5 本田剛				英語Ⅲ	進学 ⑥	CR1	甲斐	
	3限	英語Ⅲ ⑤ CR1 甲斐				農業簿記Ⅰ ★	花き野菜	CR5	川田	経営
	4限	外国人コミュニケーションⅢ ⑤ 視聴覚室 木村				情報処理Ⅲ	花き野菜 ⑥	PC	大和	
		経営実習				農業簿記Ⅰ ★	農果畜産 ⑥	CR5	川田	経営
		経営実習				経営実習				経営
		経営実習				経営実習				経営

注1: ☆は、必修科目。

注2: 「コース」欄は、「農」: 農特産、「花」: 花き、「果」: 果樹、「野」: 野菜A及びB、「酪」: 酪農、「肉」: 肉用牛で各コースの該当科目を表記。

注3: 「コース」欄の空欄は、全コースが該当科目。

				木曜日				金曜日			
コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官
全	グラウンド 体育館 CR 6	平野 本郷		実用数学A		CR 2	矢野	専門基礎講座	農特産		CR 2
				情報処理 I ☆		PC 室	大和		花き		CR 7
③	CR 5	西尾		情報処理 I ☆		PC 室	大和		果樹		CR 3
				実用数学B		CR 2	内田		野菜		CR 6
③	CR 4	川田							酪肉		CR 4
③	CR 5	西尾		情報処理 I ☆		PC 室	大和	国語 I	②	CR 1	長澤
③	CR 4	川田		実用数学B		CR 2	内田	くらしと言葉	②	CR 4	梅山
								マナーと文書	②	CR 6	池田 稲田
実習				経営実習				経営実習			
実習				経営実習				経営実習			

コース変更し
た場合は、変

				木曜日				金曜日			
コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官	コース	選択	教室	教官
実習				農特産経営論	農	CR 5	海外実践学	⑦		相山	
				花き経営論	花	CR 1					
				果樹経営論	果	CR 3					
				野菜経営論	野	CR 6					
				家畜衛生論 ☆	酪肉	CR 4	新聞トピックス	⑦	CR 1	長澤	
実習				農業団体・法人論	全	JA 中央会	病害虫論	農花 果	CR 5	松村 吉田	
								野菜	CR 2		
							新聞トピックス	酪肉	CR 3		
実習				卒業論文☆	全	現場教室 PC 室	担任	経営実習			
実習				経営実習				経営実習			

令和7年度（2025年度）前期 開講科目

学科名	コース名	科目 区分	履修 区分	授業科目名	履修 学年	単位数	ページ
共通（全学科）		教養		英語コミュニケーションⅠ	1	1	4
		教養		中国語Ⅰ	1	1	6
		教養		英語Ⅰ	1	1	7
		教養		体育（1年）	1	1	8
		教養		生物	1	1	9
		教養		基礎農業	1	1	10
		教養		実用数学	1	1	11
		教養	必修	情報処理Ⅰ	1	1	12
		教養		国語Ⅰ	1	1	13
		教養		くらしと言葉	1	1	14
		教養		マナーと文書	1	1	15
		専門		食品加工論	1	1	16
		専攻	必修	農業基礎概論	1	1	17
		専攻		専門基礎講座	1	1	18
		教養		体育（2年）	2	1	23
		教養		英語Ⅲ	2	2	24
		教養		外国人コミュニケーションⅢ	2	1	25
		教養		情報処理Ⅲ	2	1	26
		教養		海外農業研修	2	3	27
		教養		海外実践学	2	1	28
		教養		新聞トピックス	2	1	29
		専門		国際農業論	2	1	30
		専門	必修	農業簿記Ⅰ	2	1	31
		専門		農業団体・法人論	2	1	32
		専攻	必修	農家派遣研修・校外派遣研修（1年）	1	5	33
		専攻	必修	農家派遣研修・校外派遣研修（2年）	2	3	34
		専攻	必修	卒業論文	2	6	35
共通（農産園芸、野菜）		専門	必修	病害虫論	2	1	40
農産園芸	農特産	専攻	必修	経営実習（農特産）	1	15	41
		専攻	必修	コースゼミ（農特産）	1	2	42
		専攻	必修	作物生産論	1	1	43
		専攻	必修	経営実習（農特産）	2	27	44
		専攻	必修	コースゼミ（農特産）	2	1	45
		専攻		農特産経営論	2	1	46
	花き	専攻	必修	経営実習（花き）	1	15	47
		専攻	必修	コースゼミ（花き）	1	2	48
		専攻	必修	花き生産論	1	1	49
		専攻	必修	経営実習（花き）	2	27	50
		専攻	必修	コースゼミ（花き）	2	1	51
		専攻		花き経営論	2	1	52
	果樹	専攻	必修	経営実習（果樹）	1	15	53
		専攻	必修	コースゼミ（果樹）	1	2	54
		専攻	必修	常緑・落葉果樹栽培論Ⅰ	1	1	55
		専攻	必修	経営実習（果樹）	2	27	56
		専攻	必修	コースゼミ（果樹）	2	1	57
		専攻		果樹経営論	2	1	58
野菜	共通	専攻	必修	経営実習（野菜）	1	15	59
		専攻	必修	コースゼミ（野菜）	1	2	60
		専攻	必修	野菜栽培各論Ⅰ	1	1	61
		専攻	必修	経営実習（野菜）	2	27	62
		専攻	必修	コースゼミ（野菜）	2	1	63
		専攻		野菜経営論	2	1	64
畜産	共通 （酪農、肉用牛）	専攻	必修	経営実習（畜産）	1	15	65
		専攻	必修	コースゼミ（畜産）	1	2	66
		専攻	必修	家畜飼養管理・栄養学	1	1	67
		専攻	必修	経営実習（酪農）	2	27	68
		専攻	必修	経営実習（肉用牛）	2	27	69
		専攻	必修	コースゼミ（畜産）	2	1	70
		専攻	必修	家畜衛生論	2	1	71
		専攻		飼料作物学	2	1	72
経営実習内で実施				食品加工実習	1	—	73
経営実習内で実施				食品加工実習	2	—	74
経営実習内で実施				農業機械応用実習Ⅰ、Ⅱ	2	—	75
経営実習内で実施（農産園芸、野菜）				農業の新技術（GAP・IoT）	1	—	76
経営実習内で実施（畜産）				農業の新技術（GAP・スマート農業）	1	—	77
経営実習内で実施（畜産）				農業の新技術（GAP・スマート農業）	2	—	78

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	英語コミュニケーションⅠ		教 官 名	大西 聖華	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義 【前半】テキスト(基礎部分)に沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 → 発表					
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	「自己探求」を通して「自己実現」へつなげる。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	①ネイティブが使っている 43のテクニックで英語が楽しくなる！(高橋書店)					
②参考文献						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	(1) オリエンテーション			Welcome to 英語コミュニケーションⅠ！		
	(2) テキスト:Day1: テーマ:Let's talk about your name!					
	(3) テキスト:Day2: テーマ:Let's talk about yourself!①			英会話でフリーズしてしまう理由①		
	(4) テキスト:Day3: テーマ:Let's talk about yourself!②			英会話でフリーズしてしまう理由②		
	(5) テキスト:Day4: テーマ:Let's talk about yourself!③			リアクションする①		
	(6) テキスト:Day5: テーマ:Let's talk about yourself!④			リアクションする②		
	(7) テキスト:Day6: テーマ:Let's talk about your recommendation for summer!①			しかける①		
	(8) テキスト:Day7: テーマ:Let's talk about your recommendation for summer!②			しかける②		
	(9)テキスト: Day8: テーマ:休暇の予定①			しかける③		
	(10) テキスト:Day9: テーマ:休暇の予定②			あやつる①		
	(11) テキスト:Day10: テーマ:休暇の予定③発表			あやつる②		
	(12) テキスト総括 ・ 定期試験					
	(13) 試験用紙返却 ・ 講義総括					
成 績 評 価	評価:講義出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	英語コミュニケーションⅠ		教官名	木村 美紀	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義 【前半】テキスト(基礎部分)に沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、グループワーク(GW)で実施 → 発表					
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	「自己探求」を通して「自己肯定感アップ」、「自己実現」へつなげる。					
使用教材	①英会話は筋トレ。中2レベルの100例文だけ！1か月で英語がスラスラしゃべれる。 (かんき出版) ②参考文献					
①テキスト・教材						
②参考文献						
講義 スケジュール ※講義日数に応じて、(1)～(11)の進行調整を行います。	大項目			小項目		
	(1) オリエンテーション 自己紹介			・英会話を身につけることの必要性 ・コミュニケーション力が人生に及ぼす影響		
	(2) テキスト: Step1 基礎トレーニング I'm+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文11)			テーマ: 自分の名前の由来 ・どんな思いが込められているかを知ること		
	(3) テキスト: Step1 基礎トレーニング 現在進行形、助動詞 他(～例文21)			テーマ: 好きなこと、やりたいこと、必要なこと ・優先順位のつけかたと自己肯定感の関係		
	(4) テキスト: Step1 基礎トレーニング 過去形、未来形 他(～例文32)			テーマ: 過去と未来 ・変えられるものと変えられないもの		
	(5) テキスト: Step1 基礎トレーニング You're+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文49)			テーマ: 見方・考え方で変わる世界 ・褒め上手な人にしか見えない景色		
	(6) テキスト: Step1 基礎トレーニング It's+名詞、形容詞、一般動詞 他(～例文62)			テーマ: 笑いの大切さ ・ユーモアが創り出す笑顔と空気感		
	(7) テキスト: Step1 基礎トレーニング 疑問文 (～例文90)			テーマ: 笑いの大切さ ・引出しの作り方と会話の広げ方		
	(8) テキスト: Step1 基礎トレーニング 命令文、前置詞、接続詞(～例文100)			テーマ: 間の大切さ ・空気の読み方		
	(9)テキスト: Step1 基礎トレーニング まとめ			ロールプレイング		
	(10) テキスト: Step2 実用化トレーニング トピック1, 2, 3			ロールプレイング		
	(11) テキスト: Step2 実用化トレーニング トピック4, 5, 6, 7			ディベート		
	(12)テキスト: Step3 仕上げトレーニング			ディベート		
	(13) 試験対策 又は リスニング			ディベート、プレゼンテーション		
	(14) 試験 ・ 講義総括					
成績評価	評価: 講義出席状況、試験成績、授業態度 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	中国語 I		教 官 名	路 菁	
	履修学年	1 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	中国語の発音の仕方ができる 日常的に使われている挨拶表現ができる					
テーマ及び概要	農業の国際化対応の一環として日本文化の源流をなす中国について、中国語の学習を通じて 理解を深める。 特に会話の学習にあたっては、正しい発音をマスターさせる。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 中国語10課（白水社）					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 中国語の基礎			(1)中国語の発音の仕方 (2)中国漢字と日本漢字		
	2 日常の挨拶			(1)日常的に使われている挨拶表現 (2)自己紹介・家族紹介		
成 績 評 価	評価:講義出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。 特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	英語 I		教官名	甲斐 知昭	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	4年制大学への編入試験を想定して、進学英語をマスターする。					
テーマ及び概要	馴染み深い内容を通して英文音読力を徹底的に強化することで、 読解力・リスニング力を同時に向上させる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①Speaking of People<Intro> (南雲堂) ※テキストの前半部分を使用します。					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 英文音読力の強化			(1)読解力の向上 (2)音読速度を向上させることでの聴解力の向上 (3)英語表現を体得させることによるコミュニケーション力の向上 ※取り上げる課題英文のシャドウイングもしくはオーバーラッピングに毎回挑戦し、それを評価の対象とします		
	2. 語彙力強化 文法再構築			(1)TOEIC形式の問題への取り組み (2)実用英語として使用頻度の高い英文法		
成績評価	評価: 定期試験(60%)、講義出席状況(10%)、音読テスト、提出物、その他(30%) 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	体育(1年)		教官名	平野龍(NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク) 本郷司	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	屋内・屋外での実技(一部学科も含む)					
科目目標 (指導・到達目標)	各種目において基礎技能及び基礎体力向上に取り組み、コミュニケーション能力も培う。 熱中症をはじめとした応急処置など、実際の農業に活かせる知識と技術を習得させる。					
テーマ及び概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理化、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。					
使用教材						
①テキスト・教材						
②参考文献						
	大項目			小項目		
	1 技術の習得			(1)集団訓練		
講義 スケジュール	2 体力の強化			・ 団体行動の中で、自分の立場や態度を培う		
	3 礼儀作法の習得			・ 集団におけるルールやマナーについて考え、規範意識を向上し、社会に主体的に参加する態度を養う		
	4 協調性を養う			(2)バレーボール		
	5 各種スポーツの練習法			・ サーブ、パス、レシーブの方法		
	6 農業に生きる応急処置の知識と技術の習得			(3)バスケットボール		
				・ ドリブルとパスの練習		
				・ 攻撃技術とボールコントロール等の練習		
				(4)ソフトボール		
				・ キャッチボール、トスバッティングの方法		
				(5)サッカーボール		
				・ ボールコントロール及びシュートの練習の方法		
				・ 戦術を工夫したゲームの展開		
				(6)その他		
				・ 各種目におけるルールやマナーについて学びフェアなプレイを大切にする		
成績評価				・ 各種目における練習の計画・実践及び試合の企画運営を主体的に行う		
	評価： 授業態度・出席状況・学科・実技試験など総合的に評価する					
	注意： 授業への遅刻・早退・欠席、学科でのレポートやプリントの未提出、授業中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	生物		教官名	西尾 嘉郎	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授業形態	講義およびグループワーク					
科目目標 (指導・到達目標)	高校で学んだ生物の基礎をおさらいする。					
テーマ及び概要	1 生物の多様性を知り、生物に共通する概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など、農業とのかかわりを考えるために必要な科学的素養を高める。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①「改訂新編 生物基礎」 東京書籍					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 生物の特徴			(1)生物の共通性としての細胞 (2)エネルギーと代謝、酵素のはたらき (3)生体内におけるエネルギー変換 (4)葉緑体とミトコンドリア		
	2 遺伝子とそのはたらき			(1)遺伝情報とDNAとゲノム (2)遺伝情報の分配 (3)遺伝情報とタンパク質合成		
	3 生物の体内環境の維持			(1)体内環境の特徴 (2)体内環境を維持する仕組み (3)免疫		
	4 生物の多様性と生態系			(1)植生の多様性と遷移 (2)生態系と食物連鎖		
成績評価	評価：定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。 注意：レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	基礎農業		教 官 名	川田 博史	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	食料生産や環境保全など農業が担う重要な役割を理解するとともに、農業に何が求められているかを考える。 また、農業を始めるにあたっての基礎知識を学ぶことで、本校で学ぶ専門講義や経営実習が円滑に受講できるようにする。					
テーマ及び概要	1 農業・農村の役割と暮らしについて理解する。 2 作物栽培や家畜飼養に関する基礎知識を習得する。 3 農業用語の基礎知識を学ぶ。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	①新版農業の基礎 農文協発行					
②参考文献	②新聞等の情報を活用した講義プリント					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 私たちの暮らしと農業					
	2 栽培・飼育の基礎			(1)動植物の共通の性質と栽培・飼育 (2)栽培・飼育のしくみと技術 (3)栽培環境と環境保全型農業の基礎		
	3 栽培の実際			(1)種子を利用する植物の栽培と利用(イネ、コーン、大豆) (2)果実を利用する植物の栽培と利用(果菜類) (3)葉や茎、根を利用する植物の栽培と利用(葉菜類、根菜類) (4)草花・ハーブの栽培と利用 (5)栽培の基礎実験		
	4 飼育の基礎と実際			(1)飼育の基礎 (2)飼育の基礎実験		
	5 農業・農村の多面的役割と私たちの暮らし			(1)地域の自然環境と地域農業 (2)我が国と世界の食料・農業・農村 (3)広がる農業・農村の役割		
	6 農業用語の基礎知識					
	成 績 評 価	評価:出席態度・提出物(20%)、期末試験(80%)により評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	実用数学		教 官 名	矢野 信司朗 内田 清海	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義及び演習 2クラスに分かれて、実施する。					
科目目標 (指導・到達目標)	計算力の向上と物事を数学的に処理する能力身に着ける。					
テーマ及び概要	農業及び生活を営むうえで必要な数学的知識を習得させると共に考え方を鍛える。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 教材による学習					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 復習編			(1)基礎計算の練習 (2)濃度算 (3)面積の計算 (4)速さ・距離・時間 (5)定価・原価・損益算 (6)分割払い (7)仕事算・水槽算		
	2 応用編			SPIテスト非言語部分の考え方の学習		
成 績 評 価	評価:出席状況、試験成績、授業態度 注意:受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	情報処理 I		教 官 名	大和浩成((有)マリオネット) 恒松海斗((有)マリオネット)	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は試験を含む)	14回
授 業 形 態	パソコンを使用し、講義と演習を併用する。					
科目目標 (指導・到達目標)	パソコンの基本操作及びWordを利用したビジネス文書やレポートの作成					
テーマ及び概要	パソコン基本操作の習得 Wordを使ってビジネス文書やレポート作成できるようにする。 最終的にはWord検定3級または2級レベルの問題を実施する。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	① オリジナルテキストWord基礎 (マリオネット)					
②参考文献	オリジナルテキストWord応用 (マリオネット)					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1. パソコンの基本操作			・パソコン室環境設定の説明と起動・終了 ・キーボードの基本操作と入力練習用ソフトを使って文字入力		
	2. ワードプロの操作方法			・Wordの基本操作 ・入力と変換の解説 ・文書の編集 ・罫線機能を使って表の作成 ・グラフィックスの利用		
	3. 様々な形式の文書の完成を試みる					
	4. SmartArtやグラフなどの図解を利用した表現力のある文章の作成					
	5. 他のアプリケーションデータの挿入					
成 績 評 価	評価: 講義出席状況・課題提出・試験成績 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	国語Ⅰ		教 官 名	長澤 久美子	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	語彙、表記、表現に留意し、論点を明確にした文章が書けること					
テーマ及び概要	テーマ「論理的な文章の作成能力の育成」 概要 まず、文章を書く前段階の基礎的な国語力を養成する。 次に論理的な文章の「型」を学習し、その後、より高度な論理的な文章が書けるようになることを目標とする。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	① 配布プリント					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 基礎レッスン編			(1)漢字・語彙 (2)表記 (3)表現 (4)まとめ		
	2 表現レッスン編			(1)ウォームアップ (2)文章の書き方 (3)作文実践		
成 績 評 価	評価：演習における課題提出及び内容による評価・期末試験成績 注意：レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いにする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	くらしと言葉		教 官 名	梅山 みどり	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験を含む)	14回
授 業 形 態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	本科目は社会人として必要とされる国語力の基礎を育成するものである。豊かな言語感覚を養い、目的に応じて的確に読み取る能力、自らの考えを表現する能力を育てることを重視する。					
テーマ及び概要	・暮らしの中の日本語の常識を身に付ける ・文章を書く上での基礎知識や方法を学ぶ。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	①ちびまる子ちゃんの 敬語教室 関根健一(集英社出版)					
②参考文献						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 手紙の書き方			①お礼の手紙の書き方		
	2 敬語			①あいさつ ②尊敬語と謙譲語 ③敬語を使う場面		
	3 敬語のいろいろ			①文法 ②まちがしやすい敬語		
	4 くらしの中の言葉			①若者言葉 ②文化と言葉 ③いろいろな言葉		
成 績 評 価	評価: 定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	マナーと文書		教官名	①池田充子(マナー編) ②稲田博子(文書編)		
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	14回	
授業形態	講義形式及び実践演習						
科目目標 (指導・到達目標)	① 社会人としてのビジネスマナーとコミュニケーションを身につけると共に、就職活動に必要な履歴書作成、面接対応が出来る事を目標とする。 ② 「文字を正しく整えて、読みやすく、速く書くこと」を学び「書く」という美しさを理解し応用的に表現できる						
テーマ及び概要	① 社会人として必要なスキル(ビジネスマナー、コミュニケーション、言葉遣い、電話応対、ビジネス文書の取り扱いとメールの書き方、面接における所作、挨拶の仕方を学ぶ) ② 硬筆の基礎(楷書・行書・横書きの文章)と実技						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	マナー編：① プリントを配布 文書編：①プリントを配布						
講義 スケジュール (順番は前後することがあります)	大項目			小項目			
	【マナー編】オリエンテーション			職場でのビジネスマナー(挨拶、身だしなみ)			
	【マナー編】 正しい言葉遣いと敬語のルール 職場でのコミュニケーション ビジネス文書及びメールの書き方 電話の応対(基礎) 電話の応対(演習)			言葉遣いと敬語、クッション言葉、 報告・連絡・相談 文書の種類とメールのルール 電話の受け方・かけ方 基礎 電話の受け方・かけ方 演習			
	【文書編(第1回)】 「書く」という事について考える 文字の歴史、漢字の歴史			授業の取り組みの説明 書体の変遷について (実技)自分の名前を書く			
	【文書編(第2回)】 楷書、行書(ボールペン及び鉛筆) 毛筆に親しむ			筆記具について考え、楷書と行書の特長を知り使い分ける(毛筆体験)			
	【文書編(第3回)】 平仮名、カタカナ、数字、アルファベット			封筒の宛名の書き方・サインペンまたはフェルトペン(各自用意)を使って未来新聞を書く ①			
	【文書編(第4回)】 漢字仮名交じり文を書く 応用・ロゴ作成			全体構成 未来新聞を書く②			
	【マナー編】 自己分析と履歴書の書き方 就職対策演習① 就職対策演習② 試験			履歴書の書き方⇒(夏休み課題)履歴書作成 面接実践(書き方と面接の身だしなみ) 面接実践(グループと個人)			
	成績評価	【マナー編】 定期試験(60%)、講義出席状況・講義内での小テスト・レポート・講義への取り組み状況(平常点40%)により、総合的に評価する。(100点満点)					
		【文書編】 自分の名前(楷書・行書)が書ける。◎○△で評価。 封筒の宛名の書き方(フェルトペンを使って体裁よく書ける)◎○△で評価。 未来新聞の全体構成ができ、体裁よく書ける。◎○△で評価。					
【注意】 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、指導に従わない場合、欠席扱いとする。							

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	食 品 加 工 論		教 官 名	松 本 鮎 美	
	履修学年	1 学 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	14回
授 業 形 態	講義形式、演習			実務経験内容	普及指導員(農産物利活用)	
科目目標 (指導・到達目標)	(1)食品加工について体系的に理解するとともに、関連する知識及び技術を身につける。 (2)食品加工に関する課題を解決し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。					
テーマ及び概要	○製造原理や原材料特性など食品加工、食品の安全性・品質表示など食品加工に関する知識と技術について学ぶ。 ○食品産業の現状と動向、生産工程管理、食品の安全性や環境への配慮、法令順守など食を取り巻く現状と課題について理解を深める。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	「五訂 食品加工学」、担当教官作成資料					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 食品製造の意義と動向			(1)食品製造の意義 (2)食品産業の現状と動向		
	2 6次産業化、農商工連携の動き			(1)取り組みの背景と課題 (2)県内での取り組み事例		
	3 食品の変質防止と品質保持			(1)食品の変質とその原因 (2)食品の貯蔵法 (3)食品衛生、食中毒、安全確保等		
	4 原料特性と加工法			(1)穀類、野菜、果実、畜産物の特性と加工技術 (2)副材料(油脂、調味料)等の特性と加工技術		
	5 加工食品の製造・販売			(1)食品営業許可 (2)加工施設の衛生基準		
	6 加工食品の規格・表示と安全性			(1)食品表示法と表示基準 (2)表示マーク		
	成 績 評 価	・定期考査(70%)＋小テストの成績(20%)＋出席状況や受講態度(10%)等により総合的に評価する。 ・授業数の2／3以上の出席のないものは、成績評価の対象にしない。 ・注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォン、イヤホンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	農業基礎概論(1年生) (4～6月)		教 官 名	(農産園芸)月田、三橋、清水 (野菜)吉田、鍋田 (畜産)中山	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は講義説明会)	14回
授 業 形 態	講義			実務経験内容	普及指導員(茶、果樹、野菜、畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	農業各分野に関する幅広い知識を習得することで、多角的な視野をもって活躍する人材を育成する。					
テーマ及び概要	講義を通じ各学科・コースの取り組み内容の理解醸成。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各学科・コースの担当教官が作成するテキスト等					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 ガイダンス			(1)講義の目的 (2)今後のスケジュール		
	2 花きに関する概論			(1)花き栽培基礎 周年生産と需要が多い花 (2)花き栽培基礎 花の育種とプラントハンター		
	3 農特産に関する概論			(1)作物と作物生産の役割 (2)作物の特徴と種類		
	4 果樹に関する概論			(1)果樹の種類と特徴 (2)果樹の栽培特性と良果多収の基本		
	5 野菜に関する概論			(1)野菜の種類と特徴 (2)野菜の生産と栽培特性		
	6 畜産に関する概論			(1)畜産業の形 (2)牛、豚、鶏の特徴と品種 (3)日本の畜産業の特徴 (4)耕畜連携とは		
	成 績 評 価	評価:各学科・コース毎に小テストやレポート、出席状況等により総合的に評価する(100点満点)。最終評価は、各学科・コースの評価を集計して行う。 注意:講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。 資格取得等により欠席(公欠)する学生が多数になると想定されるので、講義回毎に評価することを基本とする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	専門基礎講座(作物)		教官名	月田 裕人	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(普通作)	
科目目標 (指導・到達目標)	作物の歴史的背景、生産と流通、作物の生理・生態について学習し、水稻を中心とした作物を栽培するうえで必要とされる基礎的な知識・技術を身につける。					
テーマ及び概要	1 作物栽培における基礎知識及び技術を習得する。 2 作物の生産から流通までの基礎知識を習得する。 3 農業が持つ多面的な役割について正しく理解する。					
使用教材						
①テキスト・教材	①作物栽培の基礎(農山漁村文化協会)					
②参考文献	②その他技術資料					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 作物			(1)植物と動物の違い (2)植物と作物の違い		
	2 作物の成長と体のしくみ			(1)作物の一生と生活史 (2)栄養成長と生殖成長の進み方 (3)作物の生理的な営み (4)生育のよしあしの判断 (5)作物の利用部位と栽培のポイント		
	3 作物の収量と栽培環境			(1)作物の収量とは (2)作物群としての光合成と収量 (3)作物生産と資源の有効利用		
	4 作物の品種と収量・品質			(1)品種とその特性 (2)これからの育種の目標と可能性 (3)育種と遺伝資源について		
	5 地域環境・土地利用と作物生産			(1)地域の環境と作物生産 (2)耕地の合理的利用		
	6 作物生産と情報の利用			(1)作物生産と情報利用の広がり (2)生育診断と情報利用		
	成績評価	評価:定期考査(70%)、出席状況や講義態度(30%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:レポート等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	専門基礎講座(花き)		教 官 名	三橋 寛樹	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義					
科目目標 (指導・到達目標)	熊本県産主要花きの栽培変遷、様々な花き栽培技術の進歩、利用場面の多様化について学習することにより、栽培技術の理解を深めると共に、農業経営における応用力や実践力を身につける。					
テーマ及び概要	花き生産における技術の変遷やトピックスについて理解を深める。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	草花栽培の基礎、花卉園芸学の基礎、切り花の日持ち技術					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 切り花類			(1)キク (2)カーネーション (3)宿根カスミソウ (4)トルコギキョウ (5)キンギョソウ (6)ユリ類 (7)クルクマ		
	2 鉢物・花壇用苗物類			(1)シクラメン (2)ラナンキュラス (3)パンジー(ビオラ)		
	3 ラン類			(1)シンビジウム、カトレア (2)ファレノプシス		
	4 花木類			(1)ハイドランジア		
成 績 評 価	講義出席状況、レポート提出状況、筆記試験 定期考査(60%)＋レポート・プリント等の提出(20%)＋出席状況・受講態度(20%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、指示に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	専門基礎講座(果樹)		教官名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義・実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	主要な常緑果樹及び落葉果樹について、生産現場で行われてる生産技術や実践事例を理解させる。					
テーマ及び概要	常緑果樹及び落葉果樹の生産に必要な生産技術や実践事例を習得させる。					
使用教材	・フルーツ&フルーツ(熊本県果実連) ・農学基礎セミナー 新版果樹栽培の基礎(農文協) ①テキスト・教材 ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第一巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第二巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第三巻(改定第二版) ②参考文献					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 常緑果樹・落葉果樹の生産技術			(1)種類・品種 (2)生育と栽培管理 (3)病虫害・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培 ※(2)～(6)は主要品種ごとに講義する		
	2 生産現場の実践事例(1回)			(1)生産現場の実践事例(常緑果樹・落葉果樹)		
成績評価	定期考査(75%)+小テストの成績およびレポート・プリント等の提出(10%)+出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 なお、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	専門基礎講座(野菜)		教官名	吉田 達雄	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義、セルフワーク			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜に関する基礎的な生理特性および管理方法を理解することで、専門的な技術習得への基礎力を養成する。					
テーマ及び概要	野菜の生産と消費の現状を理解し、栽培技術の基本を学ぶことで、野菜栽培についての興味と理解を深める。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	野菜栽培の基礎(農山漁村文化協会)					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 野菜の種類と特徴 2 野菜の栄養成分と機能性 3 野菜の生産と消費動向 4 種子と発芽 5 根の発達と肥大 6 茎葉の生育と結球 7 花芽の分化と果実肥大 8 休眠と休眠打破 9 野菜の品質と管理 10 野菜の栽培と環境管理			(1)野菜の種類 (2)野菜の分類 (1)野菜の成分 (2)野菜の機能性 (1)野菜の生産動向 (2)野菜の消費動向 (1)種子の特性 (2)種子の処理と利用 (1)根の発達と働き (2)根の肥大 (1)茎葉の発達と働き (2)結球 (1)花芽分化の条件 (2)開花、受粉、受精と果実の発育肥大 (1)休眠のしくみ (2)休眠打破 (1)野菜の品質とは (2)品質を左右する要因 (1)作型の分類 (2)果菜類の栽培様式 (3)地下部・地上部・生物的環境 (4)土壌管理と施肥 (5)被覆資材の利用 (6)施設栽培と環境管理 (7)養液栽培技術 (8)有害生物の管理 (9)果菜類の育苗 (10)葉茎菜類の育苗 (11)セル成型苗の育成		
成績評価	評価割合:講義出席状況(3分の2以上の出席のないものは成績評価の対象にしない)、講義への取り組み状況(10%)、課題提出(10%)、定期試験(80%) 注意事項:課題(レポートやプリント)の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	専門基礎講座(畜産)		教官名	中山 統雄		
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回	
授業形態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(畜産)		
科目目標 (指導・到達目標)	動物を利用した産業の意味と役割を理解するとともに、現在の日本における畜産の現状と今後について理解する。						
テーマ及び概要	動物の家畜化の歴史、現在飼養されている主な家畜の品種と特性、乳・肉の生産に関与する要因など畜産の基礎知識を学習する。						
使用教材	家畜人工授精講習会テキスト						
①テキスト・教材	知識ゼロからの畜産入門						
②参考文献	熊本県畜産振興方針、畜産統計等						
講義 スケジュール	大項目			小項目			
	1 家畜と人間の生活			(1)畜産の意味 (2)我が国の畜産の歩み			
	2 家畜の主要品種の改良と特徴			(1)乳用牛の品種、一生と牛乳生産 (2)肉用牛の品種、一生と牛肉生産 (3)豚の品種、一生と豚肉生産 (4)鶏の特徴と鶏肉・鶏卵生産 (5)牧草の種類と栽培			
	3 畜産農家の特徴と経営			(1)日本の畜産経営の特徴 (2)酪農・畜産経営			
	4 畜産物の流通と消費			(1)牛のトレーサビリティ制度とその概要			
	5 世界の畜産と国際貿易			(1)畜産物と飼料の輸入 (2)貿易協定と輸出			
	6 畜産の新しい動きと可能性			(1)畜産の新しい動き (2)畜産物の輸出拡大			
	7 家畜の飼養管理と動物の福祉			(1)背景と国際的ガイドライン(WOAHコード) (2)我が国の「飼養管理に関する技術的指針」			
	成績評価	評価:定期考査(80%)＋出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	体育(2年)		教官名	平野龍(NPO法人ひとづくりJAPANネットワーク) 本郷司	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	屋内・屋外での実技(一部学科も含む)					
科目目標 (指導・到達目標)	各種目において基礎技能及び基礎体力向上に取り組み、コミュニケーション能力も培う。 熱中症をはじめとした応急処置など、実際の農業に活かせる知識と技術を習得させる。					
テーマ及び概要	健康・安全や運動についての理解と運動の合理化、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のため実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。					
使用教材						
①テキスト・教材						
②参考文献						
	大項目			小項目		
	1 技術の習得			(1)集団訓練		
講義 スケジュール	2 体力の強化			・ 団体行動の中で、自分の立場や態度を培う		
	3 礼儀作法の習得			・ 集団におけるルールやマナーについて考え、規範意識を向上し、社会に主体的に参加する態度を養う		
	4 協調性を養う			(2)バレーボール		
	5 各種スポーツの練習法			・ サーブ、パス、レシーブの方法		
	6 農業に生きる応急処置の知識と技術の習得			(3)バスケットボール		
				・ ドリブルとパスの練習		
				・ 攻撃技術とボールコントロール等の練習		
				(4)ソフトボール		
				・ キャッチボール、トスバッティングの方法		
				(5)サッカーボール		
				・ ボールコントロール及びシュートの練習の方法		
				・ 戦術を工夫したゲームの展開		
				(6)その他		
				・ 各種目におけるルールやマナーについて学びフェアなプレイを大切にする		
成績評価				・ 各種目における練習の計画・実践及び試合の企画運営を主体的に行う		
	評価： 授業態度・出席状況・学科・実技試験など総合的に評価する					
	注意： 授業への遅刻・早退・欠席、学科でのレポートやプリントの未提出、授業中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	英語Ⅲ		教官名	甲斐 知昭	
	履修学年	2年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	24回
授業形態	講義 (原則月曜2限及び火曜1限(週2回実施))					
科目目標 (指導・到達目標)	4年制大学への編入試験の直前対策として、進学英語をマスターする。					
テーマ及び概要	既に日本語でその知識を得ている種々の社会問題を英語を通して学ぶことで 新たな見地を獲得し、同時に英語読解力、語彙力を高める。					
使用教材						
①テキスト・教材	①Amazing Future Prospects Exploring Human Activity(南雲堂)					
②参考文献						
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1. 英文読解力の向上			(1)環境問題、人口爆発、少子化問題etc. 種々の社会問題を英語を通して学ぶ (2)関心を持った社会問題を各自掘り下げ 話題力の向上につなげる		
	2. 英語表現力の向上			(1)身近であったり関心あるテーマを学ぶ ことで、英語におけるその表現方法に関心を 寄せる		
	3. 語彙力強化 文法再構築			(1)各種検定試験形式問題への取り組み (2)実用英語として使用頻度の高い英文法 の獲得		
成績評価	評価: 定期試験(60%)、講義出席状況(10%)、音読テスト、提出物、その他(30%)					
	注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）						
講 義 科 目	科 目 名	外国人コミュニケーションⅢ		教 官 名	木村 美紀	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義 【前半】テキストに沿って、個人、ペアワーク(PW)で実施 【後半】テーマに沿って、ペアワークで実施 → 発表					
科目目標 (指導・到達目標)	外国人と交流する際に必要な「コミュニケーション能力」、「基本的な日常英会話力」を身につける。					
テーマ及び概要	英語での「自己表現力」、「質問力」を磨く。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	①やっぱり英会話は筋トレ。20の動詞をモノにする反復法(かんき出版)					
②参考文献						
講義 スケジュール ※講義日数に応じて、(1)～(10)の進行調整を行います。	大 項 目			小 項 目		
	(1) オリエンテーション			コミュニケーション力が人生に与える影響 自己紹介(3分) テキスト進め方		
	(2)テキスト:PART1 前置詞/副詞			自分の名前の由来(発表) 日記を書く		
	(3)テキスト:PART2 基本動詞 get, have			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(4)テキスト:PART2 基本動詞 go, come			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(5)テキスト:PART2 基本動詞 take, give			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(6)テキスト:PART2 基本動詞 tell, talk			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(7)テキスト:PART2 基本動詞 like, want			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(8)テキスト:PART2 基本動詞 keep, leave, put, turn			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(9)テキスト:PART2 基本動詞 make, work, use			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(10)テキスト:PART2 基本動詞 look, think, do			リピート、ロールプレイング プレゼンテーション		
	(11) テキスト総括 ・ 定期試験対策			研修報告		
	(12) 試験 ・ 講義総括					
成 績 評 価	評価: 講義出席状況、試験成績、授業態度 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び指示が無い場合のスマートフォンの使用は減点とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	情報処理Ⅲ		教 官 名	大和浩成((有)マリオネット) 恒松海斗((有)マリオネット)	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	パソコンを使用し、講義と演習を併用する。					
科目目標 (指導・到達目標)	パソコンを業務として使えるようにプレゼンテーションソフトを利用して、効果的なグラフや表、発表資料を作成できるようにする。 最終的には、プレゼンテーションの実施方法を学習する。					
テーマ及び概要	パワーポイントを利用してプレゼンテーション資料を作成し、効果的なプレゼンテーションの実施方法を学習する。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	① オリジナルテキストPower Point基礎～活用(マリオネット)					
②参考文献						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1. プレゼンテーションソフトの基本操作			・プレゼンテーションソフトPower Pointについて ・Power Pointの基本操作 ・プレゼンテーション資料作成 ・資料の印刷 ・資料のブラッシュアップ ・グラフや図形の挿入 ・オートシェイプの利用 ・クリップアートの利用 ・表の作成		
	2. プレゼンテーションのリハーサル			・プレゼンテーションで重要なこと ・プレゼンテーション能力の活用		
	3. 作成資料でプレゼンテーションの実施			・プレゼンテーション本番練習		
成 績 評 価	評定: 講義出席状況・課題提出・試験成績 注意: 受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	海外農業研修		教 官 名	引率教官、外部講師（旅行代理店添乗員等）	
	履修学年	2年	単位数	3単位	講義回数予定	6日間
授 業 形 態	海外での見学及び体験学習(外国人とのコミュニケーション含む)					
科目目標 (指導・到達目標)	外国人との生活体験を通じて、異文化への理解を深めることができる。海外農業の生産や流通、担い手の実情に対する理解を深めることができる。異国での活動、コミュニケーションを培うことで、将来の海外交流や取引に活かせる知識と経験を習得する。					
テーマ及び概要	海外でのファームステイや大規模農場等の見学を通じ、海外の農業や文化等に関する理解を深める。また、外国人との生活体験を通じ、主体的に問題を解決する力を高める。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	(海外実践学と同じ)					
講義計画 (順不同)	大 項 目			小 項 目		
	ガイダンス・ブリーフィング			入国手続き、各種規約、スケジュール確認等 (海外実践学と共用)		
	事前学習			ビザの手続き方法、旅行先のルールやマナー、班別行動時の訪問先や調べたい事を把握し、個々の行動計画としてまとめておく(海外実践学と共用)。		
	研修旅行当日			当日は事故・怪我が生じないよう慎重に行動する。 全行程を通じ、記録簿への記帳を義務とする。 記録簿には、見たこと、聞いたこと、新たな発見や疑問点、心動かされた事などを整理し、後日の報告書作成に用いる。		
	研修旅行報告			旅行で得られた知見や感想を共有する。(海外実践学と共用)		
	(注意点)			海外のルールやマナーを遵守し、熊本県立農業大学校の学生として、相応の言動や規律ある行動をとるように留意する。		
成 績 評 価	旅行中の規範順守、ファームステイ時の生活態度、旅行修了後の報告書及び発表内容から総合的に評価する					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	海外実践学		教官名	梶山 幹司・永井 泰弘 堤 泰之	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	全12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	海外でのファームステイや大規模農場等の視察を通じて、海外の農業等に関する理解を深め、また、異文化の生活体験を通して、主体的に問題を解決する力を高め、将来を創造する能力と実践する態度を養う。					
テーマ及び概要	渡航手続きの方法、海外研修の心構え、訪問国の概要、訪問先での会話等について学ぶ。					
使用教材	①旅行代理店作成の事前資料					
①テキスト・教材	①渡航前準備資料、訪問先関連資料及び映像					
②参考文献	①外部講師作成資料等					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 海外研修の意義・目的			(1)海外で研修する意義 (2)海外農業研修のポイント		
	2 渡航先の農業情勢・視察先の紹介			(1)地理、歴史、文化 (2)農業の概要 (3)視察先の紹介		
	3 ファームステイの実際			(1)ファームステイでの心構え (2)ファームステイで学ぶこと (3)ファームステイ先への挨拶状		
	4 自主研修のプラン作成			(1)班決め (2)班ごとの視察プラン作成		
	5 渡航手続きの実際			(1)パスポートの取得 (2)査証(ビザ)について (3)出国と入国 (4)持ち出し物と持ち込み物		
	6 海外農業研修報告書の作成					
成績評価	評価:講義出席状況、提出物状況、講義のレポートや講義への取り組み状況等 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。スマートフォンは査証取得、情報収集、及び翻訳作業に限り、使用を認める。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	国語(新聞トピックス)		教官名	長澤 久美子	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	新聞等の社説やコラムなど、論理的に構成された文章を書写し要旨をまとめることにより、論理的表現や文章の展開などを身に付ける。また、環境や農業・農村等に関するトピックスなどを読み込むことで、農業系の進学・就職試験の際、小論文や面接で必要とされる基礎知識を学ぶ。					
テーマ及び概要	テーマ	「論理的な文章の構成力及び農業系の進学(就職)試験で必要な基礎知識の修得」				
	概要	概要 新聞等の論説文をお手本として書写・要旨まとめを行い、文章の「型」を体得する。農業系の進学・就職試験で必要な基礎知識を新聞を題材として学習する。				
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①各種新聞等の論説文(社説やコラム等)、環境や農業・農村等に関するトピックスの写し					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 新聞論説文の書写			(1)書写 (2)要旨まとめ (3)表現 (4)まとめ		
	2 基礎知識の修得			(1)環境 (2)農業 (3)農村		
成績評価	評価:演習における課題提出及び内容による評価・期末試験成績 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いにする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	国際農業論		教 官 名	本 田 剛 司	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち各1回は定期試験含む)	12回
授 業 形 態	講義及び演習方式					
科目目標 (指導・到達目標)	1 国際人としての知識を学び、海外から見た日本を知る。そして日本人としての認識を深める。 2 米国、ヨーロッパ諸国、オーストラリア、中国等主要国と日本農業とを比較し理解する。 3 国際機関(WTO)や国際農業交渉(TPP、FTA)等の基礎について学び、日本の農業への影響を考える。					
テーマ及び概要	世界の中の日本の状況を学ぶとともに、特に影響のある国の農業について学習する。また、国際機関(WTO)や国際農業交渉(TPP、FTA)等の基礎について学習し、国際人としての認識と広い視野を学ぶ。 1 国際人とは？国際感覚について学ぶ。さらに国際状況を学び、日本を知ることにより国際人としての認識を深める 2 国際機関(WTO)や国際農業交渉(TPP、FTA)等の基礎について学び、日本の農業との関連を考える 3 輸出産業としての日本農業の課題と対応について 4 主要国の農業の現状と日本との関係性について (1) アメリカの農業について (2) ヨーロッパ諸国(EU)の農業について (3) 中国及びその他アジア諸国の農業について (4) オーストラリアの農業について					
使 用 教 材	① 日々の講義レポート					
①テキスト・教材	① 国、県の発行する施策情報等資料及び新聞、インターネット情報、NHK Eテレ番組など					
②参考文献	①「新・よくわかる農政用語」(全国農業会議所)					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 国際人とは。国際感覚とは。 国際社会と日本の現状			(1)国際人とは。国際感覚とは。日本と諸外国をデータを通して比較することにより日本の現状を学ぶ。 (2)外国から見る日本(講師の体験・経験談を含む)		
	2 国際機関や各種貿易に関する協定などと日本農業への影響			(1)国際機関であるWTOとは？各協定であるFTA、EPA及びTPPとは？など (2)国際貿易交渉の日本の対応について (3)国際貿易の各国の対応の違いについて		
	3 輸出産業としての日本農業について			(1)農産物輸出の課題と対応について		
	4 主要国の農業の現状と日本との関係性			(1)アメリカの農業 ア アメリカ農業の現状と特徴 イ アメリカ農業と日本の関係性 (2)ヨーロッパ諸国(EU)の農業 ア EU主要国の農業の現状と特徴 イ EU諸国の農業と日本の関係性 (3)中国及びその他アジア諸国の農業 ア 中国農業の現状と特徴 イ 中国農業と日本の関係性 ウ アジア諸国(ASEAN)の農業と日本の関係性 (4)オーストラリアの農業 ア オーストラリア農業の現状と特徴 イ オーストラリア農業と日本の関係性		
	5 農政用語解説			国際農業理解のための基礎用語理解		
成 績 評 価	講義出席状況、定期試験成績、レポート提出回数 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	農 業 簿 記 I		教 官 名	川 田 博 史	
	履 修 学 年	2 年	単 位 数	1 単 位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	テキストを中心に展開し、平行して演習を行う。 (1日に同じ授業を2回おこなう)					
科 目 目 標 (指導・到達目標)	複式農業簿記の原理を理解し、演習することにより、記帳の習慣を身につけ、 将来の農業経営に役立てる。					
テ ー マ お よ び 概 要	①テキストと問題集をスケジュールごとに併用して理解を深める。 ②各農家の経営状態によって勘定科目が異なることを理解して演習をする。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①農業簿記検定 教科書3級 (大原出版) ①農業簿記検定 問題集3級 (大原出版)					
講 義 ス ケ ジ ュ ー ル	大 項 目			小 項 目		
	1 農業簿記の概要			①簿記とは ②農業とは ③農業簿記の目的		
	2 簿記一巡の手続き			①取引とは ②仕訳と転記 ③仕訳帳と総勘定元帳伝票とは ④主要簿と補助簿 ⑤試算表		
	3 勘定科目			①農業簿記の勘定科目 ②農業経営と勘定科目		
	4 収益・費用の記帳方法			①収益と費用 ②農業特有の会計処理		
	5 流動資産・流動負債など			①流動資産 ②棚卸資産 ③繰延資産 ④流動負債 ⑤固定負債 ⑥資本金		
	6 固定資産			①有形固定資産 ②修繕費と資本的支出 ③有形固定資産の売却		
	7 決算書の作成			①決算書作成までの手順 ②決算の具体的手続き		
	8 まとめ			①農業簿記全般のまとめ		
	成 績 評 価	評 価：出席態度・提出物(30%)、試験成績(小テスト20%、期末50%) 注 意：受講態度、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。 特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	農 業 団 体 ・ 法 人 論		教 官 名	JA熊本中央会 他	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	JA(農業協同組合)の目的と理念を正しく理解し、発展性のある農業経営を実現する第一歩とする。					
テーマ及び概要	農村社会を支えるJA(農業協同組合)について、設置の目的や役割、組織の運営状況、事業内容並びに今後の課題等を体系的に学ぶ。					
使 用 教 材	①「私たちとJA」13訂版(全国農業協同組合中央会発行)					
①テキスト・教材	②「農業こそが日本を救う！～働き方改革で農業を新しい産業にしよう！～」(熊本県農業協同組合中央会発行)					
②参考文献	③「まんがでわかる！農業版！これから人を雇うときのポイント40」(熊本県農業協同組合中央会発行)					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 JA(農業協同組合)について			(1)JAのあらまし (2)JAの生い立ちと歩み (3)JAの組織・運営 (4)JAの事業と活動 (5)持続可能な農業・地域共生の未来づくり		
	2 JA連合会の取組について			(1)JA経済連について (2)JA厚生連について (3)JA共済連について (4)農林中央金庫について (5)JA単協について		
成 績 評 価	評価: 定期考査、課題、学習態度、出席状況を勘案して評価する。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点する。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	農家派遣研修・校外派遣研修		教官名	各学科長、1年担任教官	
	履修学年	1年	単位数	5単位	講義回数予定	前期 5日間 後期11日間
授業形態	県内の先進的な農業者、または農業法人及び農業関連企業等における職業体験研修					
科目目標 (指導・到達目標)	【前期】入学後間もない1年生が、農家での生活を実際に体験し、農業についての理解を深め、農大での学習目標の具体化を図る。 【後期】学生の就農および就職時に必要な技術、技量、理念等を、研修先の農家・企業等から直接的に習得し、学生の希望する進路実現に資する。					
テーマ及び概要	【前期】農大OBの農家での宿泊を基本とした、「農家派遣研修」を実施する。 【後期】自営就農や雇用就農、農業関連企業への就職等、学生個々の将来像に応じた派遣先を選定し、「農家派遣研修」、または「農業関連産業等派遣研修」(インターンシップ)を実施する。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	校外派遣研修事前指導資料					
講義計画 (順不同)	大項目		小項目			
	研修に向けた準備		学生は、研修受入先の農家・企業等へ連絡し、研修内容の事前打ち合わせを行う。			
	事前学習		学生に研修先の業務内容や経営について事前に調べさせ、研修中に質問したい事項や、学びたい事を事前に考えさせる。			
	研修期間中		農家派遣研修は、初日に受入式、最終日に修了式を行う。 研修中は、受け入れ先の指示に従い、事故・怪我が生じないよう安全面に注意し、業務等に当たる。 毎日、記録簿への記帳を義務とする。 記録簿には、1日の研修内容、農作物の生育や家畜飼養等で感じたこと、指導を受けたり、経営・技術等で参考となることを聞いたりしたこと、翌日の研修時に質問することを整理して記入する。			
	研修終了後		研修記録簿に、研修を終えての反省、感想を記入する。 指定された期日までに、研修記録簿を担任へ提出する。 研修先には、学生の研修状況について記載した評価票の提出を求める。			
	(注意点)		研修先の就業規則や、社会人としてのルールやマナーを遵守し、熊本県立農業大学校の学生として、相応の言動や規律ある行動をとるように留意する。			
成績評価	教官の中間巡回による研修状況、研修日誌の記録状況及び内容、受入先の評価等					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	農家派遣研修・校外派遣研修		教官名	各学科長、1年担任教官	
	履修学年	2年	単位数	3単位	講義回数予定	12日間
授業形態	県内の先進的な農業者、または農業法人及び農業関連企業等における職業体験研修					
科目目標 (指導・到達目標)	学生の就農および就職時に必要な技術、技量、理念等を、研修先の農家・企業等から直接的に習得し、学生の希望する進路実現に資する。					
テーマ及び概要	自営就農や雇用就農、農業関連企業への就職等、学生個々の将来像に応じた派遣先を選定し、農家派遣研修、または農業関連産業等派遣研修(インターンシップ)を実施する					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	校外派遣研修事前指導資料					
講義計画 (順不同)	大項目		小項目			
	研修に向けた準備		学生が自らの就職先を考え、研修先を選択する。学生は、研修受入先の農家・企業等へ連絡し、研修内容の事前打ち合わせを行う。			
	事前学習		学生に研修先の業務内容や経営について事前に調べさせ、研修中に質問したい事項や、学びたい事を事前に考えさせる。			
	研修期間中		農家派遣研修は、初日に受入式、最終日に修了式を行う。 研修中は、受け入れ先の指示に従い、事故・怪我が生じないよう安全面に注意し、業務等に当たる。 毎日、記録簿への記帳を義務とする。 記録簿には、1日の研修内容、農作物の生育や家畜飼養等で感じたこと、指導を受けたり、経営・技術等で参考となることを聞いたりしたこと、翌日の研修時に質問することを整理して記入する。			
	研修終了後		研修記録簿に、研修を終えての反省、感想を記入する。 指定された期日までに、研修記録簿を担任へ提出する。 研修先に、学生の研修状況について記載した評価票の提出を求める。			
	(注意点)		研修先の就業規則や、社会人としてのルールやマナーを遵守し、熊本県立農業大学校の学生として、相応の言動や規律ある行動をとるように留意する。			
成績評価	教官の中間巡回による研修状況確認、研修日誌の記録状況及び内容、受入先の評価等					

令和7度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	卒業論文(農特産)		教 官 名	戸 上 皓 一 朗	
	履修学年	2 年	単位数	6単位	講義回数予定	65回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 農特産関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 ①パソコンを使ったデータ処理 ②統計処理やグラフなどの図形作成 ③カメラでの撮影と写真整理		
	3 文献、参考図書の活用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成 績 評 価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	卒業論文(花き)		教 官 名	青木 孝枝	
	履修学年	2年	単位数	6単位	講義回数予定	65回
授 業 形 態	講義及び演習					
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 花き関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 ①パソコンを使ったデータ処理 ②統計処理やグラフなどの図形作成 ③カメラでの撮影と写真整理		
	3 文献、参考図書の活用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成 績 評 価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和7度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	卒業論文(果樹)		教 官 名	野中 実	
	履修学年	2年	単位数	6単位	講義回数予定	65回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 果樹関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 ①パソコンを使ったデータ処理 ②統計処理やグラフなどの図形作成 ③カメラでの撮影と写真整理		
	3 文献、参考図書の活用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成 績 評 価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	卒業論文(野菜)		教 官 名	永井 泰弘・梶山 幹司	
	履修学年	2年	単位数	6単位	講義回数予定	65回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 野菜関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 ①パソコンを使ったデータ処理 ②統計処理やグラフなどの図形作成 ③カメラでの撮影と写真整理		
	3 文献、参考図書の活用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成 績 評 価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	卒業論文(畜産)		教 官 名	森 将臣 北浦 日出世	
	履修学年	2年	単位数	6単位	講義回数予定	65回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて課題解決の過程を学び、その成果を卒業論文としてまとめる。					
テーマ及び概要	論文の構成や文章の表現方法、データの整理方法などについて学習し、取りまとめ及び考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 畜産関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査したデータの処理方法 ①パソコンを使ったデータ処理 ②統計処理やグラフなどの図形作成 ③写真などの撮影と整理		
	3 文献、参考図書の活用					
	4 論文の作成			卒業論文作成手引きに基づいた卒業論文の作成		
成 績 評 価	評価:卒業論文評価基準により評価する。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	病虫害論		教官名	松村正哉(虫害) 吉田政博(病害)	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式					
科目目標 (指導・到達目標)	作物の病虫害防除管理を遂行するうえで必要不可欠な基礎知識を習得する。また実際の防除例を学ばせ、防除に対する多様な発想、考え方を身につけさせる。					
テーマ及び概要	作物病虫害の防除管理は農作物の生産安定に不可欠である。近年、侵入病虫害の頻発や作物の高品質化を求める消費者の動向のため、対応が必要な病虫害は増加し、その発生様相も複雑化する傾向にある。一方では食の安全・安心や周辺環境への影響防止の観点から効率的な農薬使用が求められるようになってきており、農薬のみに頼らない総合的病虫害管理法(IPM)の推進が益々重要になっている。その対応に当たって必要となる作物病虫害の発生生態、また農薬の特性や安全使用等、具体的な防除管理に必要な基礎知識を学習し、人と環境にやさしい農業への取り組み等を思考する。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①植物病理学 第2版(大木 理 著、東京化学同人) ①配布プリント					
講義 スケジュール	大項目		小項目			
	1. 害虫概論		(1)昆虫と害虫 ー農作物の害虫はなぜうまれるかー 農業生産と害虫、昆虫の起源、特徴、分類 (2)害虫の生態 生活環と季節適応、害虫化と分布拡大の要因 (3)害虫の生理・害虫管理の理論 (4)害虫防除(害虫管理)の手法 生物的防除、物理的防除、耕種的防除 (5)農薬の基礎知識と使い方			
成績評価	2 病害概論		(1)植物の病気とは (2)病原体の感染と発病 植物はどのようにして病気になるのか (3)植物と病原体の相互作用 抵抗性と病原性、植物・病原体の戦略 (4)病気の発生生態 伝染様式と伝搬、発生と環境 (5)病気の診断と管理、防除法			
	講義出席状況、期末試験成績、授業態度 定期考査＋小テストの成績及び出席状況や講義態度などにより総合的に評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	栽培経営実習(農特産)		教官名	月田 裕人	
	履修学年	1年	単位数	15単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	農大で栽培する土地利用型作物や工芸作物の栽培方法及び肥培管理技術を習得し、プロジェクト学習の専攻作物を実際に栽培できるようになる。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、農業者として身に付けておくべき、農作物(特に水稲、麦、大豆、たばこ、いぐさ、茶)の栽培管理及びほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶ。 特にプロジェクト学習における専攻作物については重点的に管理技術を学ぶ					
使用教材						
①テキスト・教材	ほ場における育苗、栽培管理					
②参考文献	農業機械や各種資材具等を使用しての管理実習					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ほ場及び周辺の除草 (2)耕起・整地・代かき・畝立て等作物栽培に必要なほ場管理		
	2 作物栽培管理 (プロジェクト学習)			(1)作物播種・育苗管理 (2)水管理、施肥管理 (3)生育調査及び調査データ処理 (4)収穫、乾燥、出荷・調整作業 (5)品質鑑定 (6)土壌分析による施肥設計 (7)病虫害防除		
	3 特産加工			(1)製茶技術の基礎 (2)仕上げ作業		
	4 生産物販売			(1)各品目の選果及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
成績評価	評価:知識・技術(30%)、履修態度(30%)、出席状況(40%)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	コースゼミ(農特産)		教官名	月田 裕人	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定	20回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト活動の課題を決め、試験設計ができるようになるとともに、卒業論文作成に必要な論理的な考え方ができるようになる。					
テーマ及び概要	1 プロジェクト活動の課題設定及び試験設計の方法の習得 2 論文とはどのようなものか理解し、論文の構成を知る 3 論文を読み、卒業論文の作成力をつける					
使用教材	プロジェクト活動に関する資料 試験設計に関する資料 農特産に関係する論文 卒業論文他					
①テキスト・教材						
②参考文献	他					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 プロジェクト学習について			(1)プロジェクト学習について (2)課題の設定方法(動機及び目的) (3)試験方法について (4)調査方法について (5)結果及び考察について(図表作成等)		
	2 試験設計の方法について			(1)試験設計とは (2)試験設計の方法 (3)試験設計書の作成		
	3 農特産に関する論文の理解			(1)農特産に関する論文の検索 (2)農特産に関する論文の読解と討議		
	4 卒業論文とは			(1)論文の基本 (2)論文の構成 (3)卒業論文の構成 (4)卒業論文の作成		
成績評価	評価:出席状況や講義態度(30%)、質疑応答等による各項目の理解度(30%)、試験設計書等提出物(40%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:設計書等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)での通話は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	作物生産論		教官名	月田 裕人	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	土地利用型作物や工芸作物を栽培するうえで必要とされる基礎的な知識・技術を修得するとともに、各作物を取り巻く社会的情勢について理解する。					
テーマ及び概要	主要農作物及び工芸作物に関する生理生態、肥培管理、加工利用、流通制度等についての基礎的な知識・技術を身につける。					
使用教材						
①テキスト・教材	①作物栽培の基礎(農山漁村文化協会)					
②参考文献	②その他技術資料					
講義 スケジュール	大項目		小項目			
	1 作物について		(1)栽培の起源と農耕文化 (2)世界の作物生産の動向 (3)わが国の作物生産の動向 (4)わが国の作物生産の課題			
	2 麦類		(1)麦類の特徴と利用 (3)栽培の実際		(2)麦類の一生と成長 (4)流通と経営の特徴	
	3 豆類		(1)大豆の特徴と利用 (3)大豆栽培の実際		(2)大豆の一生と成長 (4)流通と経営の特徴	
	4 茶		(1)茶の特徴と利用 (3)茶栽培の実際		(2)茶の一生と成長 (4)茶の加工	
	5 いぐさ		(1)いぐさの特徴と利用 (3)いぐさ栽培の実際		(2)いぐさの一生と成長 (4)地域の課題と取り組み	
	6 タバコ		(1)タバコの特徴と利用 (3)タバコ栽培の実際		(2)タバコの一生と成長 (4)地域の課題と取り組み	
	7 イモ類		(1)ジャガイモの特徴と利用 (2)ジャガイモの一生と成長 (3)ジャガイモ栽培の実際 (4)サツマイモの特徴と利用 (5)サツマイモの一生と成長 (6)サツマイモ栽培の実際			
	成績評価	評価: 定期考査(70%)、出席状況や講義態度(30%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意: レポート等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	栽培経営実習(農特産)		教官名	戸上 皓一郎	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	各自が取り組むプロジェクトの品目について、常に調査と観察を行うことを基本に栽培技術について知識を深めるとともに、天候などの変化に対応し、的確な栽培管理ができるようにする。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、農業者として身に付けておくべき農作物(特に稲、麦、大豆、茶、転作作物等)の栽培管理及びほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶ。 特に、プロジェクト研究における専攻作物については重点的に管理技術の習得を行う。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	ほ場における育苗、栽培管理 農業機械や各種資材等を使用しての管理実習					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ほ場及び周辺の除草 (2)耕起・整地・代かき・畝立て等作物栽培に必要なほ場管理		
	2 作物栽培管理			(1)作物播種・育苗管理 (2)水管理、施肥管理 (3)生育調査 (4)収穫、燥機、調整作業 (5)品質鑑定 (6)土壌分析による施肥設計 (7)病虫害防除		
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	コースゼミ(農特産)		教官名	戸上 皓一郎	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定	10回
授業形態	講義・ゼミ			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	調査データの取り扱いについて理解を深め、プロジェクト発表や卒業論文の考察に必要な文献の検索と引用ができるようにする。					
テーマ及び概要	試験研究機関等で発表された論文等の内容について討議し、作物に関する知識を深めるとともに、調査データの整理や発表方法に関する基礎知識・技術の向上を図る。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	試験研究機関成績書、成果情報等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 論文形式の文章について			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査データの記録と整理方法 (2)記録したデータの処理方法 ① パソコンを使ったデータ処理 ② 統計処理やグラフなどの図形作成 ③ 写真などの撮影と整理		
	3 試験研究機関の研究成果について			(1)成績書等の内容を理解し発表する (2)多くの論文を読み、研究のまとめ方を学ぶ		
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	農特産経営論		教 官 名	戸 上 皓 一 朗	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	土地利用型作物を中心とした経営の特徴を理解するとともに、経営分析等を行い5年後の経営設計を行う。					
テーマ及び概要	土地利用型作物における経営上の特徴と、経営の実態把握や経営改善のための具体的な取り組み方について理解する。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	熊本県農業経営指標(熊本県発行)					
②参考文献	農林水産省作成のパンフレット等					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 土地利用型作物経営の特徴			(1)土地利用型作物経営の特徴 (2)県指標に見る品目別経営収支 (3)国の農業政策の変遷		
	2 経営分析の基礎的な考え方			(1)経営分析の流れ (2)前提条件の把握 (土地条件、土地利用体系、栽培方法、 品種構成、機械化・施設装備、その他) (3)月別作業労働時間 (4)経営収支		
	3 経営改善のための様々な手法			(1)省力、低コスト栽培技術 (2)高収量、高品質栽培技術 (3)加工および直販など		
	4 5年後の経営シミュレーション					
成 績 評 価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	栽培経営実習（花き）		教官名	三橋 寛樹	
	履修学年	1年	単位数	15単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習 花き生産法人、農大卒業生の花き生産者、地域営農法人等の校外研修・各種研修会			実務経験内容	普及指導員（花き）	
科目目標 （指導・到達目標）	花きに関する体験的・実践的な学習をとおして、総合的な生産技術や知識を習得させ、経営と栽培管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や課題への対応能力など、より実践的な能力と態度を育成する。					
テーマ及び概要	花きの栽培管理やプロジェクト学習をとおして、栽培管理技術の基礎、収穫物の調整・出荷方法について習得するとともに、プロジェクト学習の進め方について理解を深める。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	校内圃場における栽培管理					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)トルコギキョウ (2)宿根カスミソウ (3)スターチス・シヌアータ (4)ラナンキュラス（鉢物） (5)ラナンキュラス（切り花） (6)シクラメン（鉢物） (7)アジサイの管理（花壇用アジサイ） (8)球根切り花類（カラー、クルクマなど） (9)花壇用苗もの（パンジー、ビオラなど）		
	2 プロジェクト学習の進め方			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データ処理 (5)結果とりまとめ (6)考察		
	3 生産物販売			(1)花き類の収穫方法 (2)鮮度保持剤の使い方 (3)販売時の色あわせ等		
成績評価	出席状況、受講・実習態度 出席状況（70％）＋出席状況・受講態度（30％）などにより総合的に評価する（100点満点）。ただし、出席率が90％未満の者は成績評価の対象にしない。 注意：レポートやプリントの未提出、実習への遅刻・早退・欠席、私語及び携帯電話（スマートフォン）の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、指示に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	コースゼミ(花き)		教官名	三橋 寛樹	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定	20回
授業形態	演習			実務経験内容	普及指導員(花き)	
科目目標 (指導・到達目標)	経営実習を通じてのプロジェクト課題の試験調査方法を理解させると共に卒業に向けた卒業論文の中身をイメージできる。					
テーマ及び概要	プロジェクト学習活動で栽培した花きの特性を理解するとともに、プロジェクト活動の目的と調査項目と調査方法との関連性を理解することで、卒業論文のまとめ方の理解に繋げる。					
使用教材	草花栽培の基礎					
①テキスト・教材	農業技術体系、花き園芸大百科					
②参考文献	論文・レポートの書き方					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培に取り組んだ花きの特性について			(1)花きの名称 (2)原産地と来歴 (3)作型と主要品目(県内での栽培状況) (4)生育特性 (花芽分化・休眠・開花特性) (5)栽培管理・病害虫		
	2 プロジェクト学習成果のまとめ			(1)課題名 (2)目的 (3)試験方法 供試品目(品種)・試験区内容・施肥量 耕種概要・栽培の説明 (4)調査 生育調査・収量調査・品質調査		
成績評価	評価:出席状況(20%)、受講態度(30%)、発表やレポートの評価及びレポート・プリント等の提出(50%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	花き生産論		教官名	三橋 寛樹	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(花き)	
科目目標 (指導・到達目標)	花き栽培を行う上で必要な環境制御に係る知識(気象、土壌、病害虫等)を理解し、花き栽培の実践に応用できる能力を身につけることができる。					
テーマ及び概要	花き栽培上必要な環境制御について学び、花きを栽培するうえでの応用力を養う。					
使用教材	草花栽培の基礎、花卉園芸学の基礎					
①テキスト・教材 ②参考文献						
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 花きの種類と分類			(1)施設・露地花きの栽培土壌の特徴 (2)土壌消毒法 (1)肥料(基肥、追肥)の特徴 (2)土壌改良資材の特徴 (1)肥料・施肥法と施肥設計 (2)栄養診断 (1)切り花栽培でのかん水法の種類と特徴 (2)鉢物・花壇苗栽培でのかん水法の種類と特徴 (1)かん水同時施肥栽培の仕組みと方式 (1)被覆資材の種類と特徴 (2)被覆資材利用の工夫 (1)施設の種類と構造 (2)施設の光環境調節 (3)施設内の温湿度制御 (1)耕種的防除 (2)化学的防除 (1)花きの主要病害虫とその防除 (2)天敵を利用した総合病害虫管理(IPM)		
	2 花きの繁殖方法					
	3 育種と品種					
	4 土壌管理					
	5 肥料・土壌改良資材の種類と特徴					
	6 土壌診断と施肥					
	7 かん水技術					
	8 かん水同時施肥栽培技術					
	9 施設における被覆資材の利用					
	10 施設栽培と環境管理					
	11 病害虫防除①					
	12 病害虫防除②					
成績評価	評価:講義出席状況、レポート提出状況、筆記試験 定期考査(60%)＋レポート・プリント等の提出(20%)＋出席状況・受講態度(20%) などにより総合的に評価する。(100点満点) 注意:レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話等の使用は減点とする。特に、携帯電話等の使用について指示に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	栽培経営実習(農特産)		教官名	戸上 皓一郎	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(作物)	
科目目標 (指導・到達目標)	各自が取り組むプロジェクトの品目について、常に調査と観察を行うことを基本に栽培技術について知識を深めるとともに、天候などの変化に対応し、的確な栽培管理ができるようにする。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、農業者として身に付けておくべき農作物(特に稲、麦、大豆、茶、転作作物等)の栽培管理及びほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶ。特に、プロジェクト研究における専攻作物については重点的に管理技術の習得を行う。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	ほ場における育苗、栽培管理 農業機械や各種資材等を使用しての管理実習					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ほ場及び周辺の除草 (2)耕起・整地・代かき・畝立て等作物栽培に必要なほ場管理		
	2 作物栽培管理			(1)作物播種・育苗管理 (2)水管理、施肥管理 (3)生育調査 (4)収穫、乾燥機、調整作業 (5)品質鑑定 (6)土壌分析による施肥設計 (7)病虫害防除		
成績評価	レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及びスマートフォンの使用等は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	コースゼミ(花き)		教 官 名	青木 孝枝	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定	10回
授 業 形 態	演習					
科目目標 (指導・到達目標)	経営実習を通じてのプロジェクト課題の試験調査方法を理解させると共に卒業に向けた卒業論文の作成方法について演習することにより論文の完成と発表力を習得させる。					
テーマ及び概要	プロジェクト学習活動で栽培した花きの特性や成果について調査・取りまとめを行う。同時に、効果的でわかりやすい発表方法を習得する。					
使 用 教 材	草花栽培の基礎					
①テキスト・教材	農業技術体系、花き園芸大百科					
②参考文献	論文・レポートの書き方					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 栽培に取り組んだ花きの特性について			(1)花きの名称 (2)原産地と来歴 (3)作型と主要品目(県内での栽培状況) (4)生育特性 (花芽分化・休眠・開花特性) (5)栽培管理・病害虫		
	2 プロジェクト学習成果のまとめ			(1)課題名 (2)目的 (3)試験方法 供試品目(品種)・試験区内容・施肥量 耕種概要・栽培の説明 (4)結果 生育調査・収量調査・品質調査 (5)考察 (6)参考資料		
	3 研究成果の要約と発表会の実施					
成 績 評 価	評価:出席状況(20%)、受講態度(30%)、発表やレポートの評価及びレポート・プリント等の提出(50%)などにより総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	花き経営論		教 官 名	青木 孝枝	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容		
科目目標 (指導・到達目標)	本県の花き経営における課題を理解させると共に、経営分析手法の演習により、経営改善への取組法を理解させる。					
テーマ及び概要	花き栽培における経営上の特徴と実態把握や経営改善のための具体的な取り組み方について理解する。 自分の住んでいる地域の農業概況を調べ、気象・土壌条件や、地域農業の特色と問題点を把握する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本県農業経営指標 農業技術体系、花き園芸大百科 花卉園芸学					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 花き生産の特徴			(1)花き経営の特徴 (2)花きの商品性、流通・販売の特徴		
	2 我が町の農業概況			(1)地域概況 (2)農業生産状況 (3)地域農業の動向と問題点		
	3 農業経営について			(1)労働力の把握・役割分担 (2)耕作面積 (3)作付体系 (4)月別労働時間(作物別) (5)作物別生産経費 (6)農業施設・農業機械の整備状況 (7)作物別農業所得		
成 績 評 価	評価:出席状況(10%)、演習での取組状況(30%)や受講態度(10%)、レポート(50%)により総合的に評価する。(100点満点) 【注意事項】 レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	栽培経営実習(果樹)		教 官 名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	15単位	講義回数予定	通年
授 業 形 態	実習・演習・校外研修			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	年間を通じて、各果樹の生育相を理解させ、それに対応する基礎的な栽培管理技術を習得させる。					
テーマ及び概要	校内果樹園の栽培管理ならびに校外研修(県農研センター果樹研究所、果実利用製造施設)等を通じて、果樹経営に必要な栽培管理の基礎的知識・技術の習得を図る。					
使 用 教 材	フルーツ＆フルーツ(熊本県果実連)					
①テキスト・教材						
②参考文献						
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 整枝・せん定			(1)生育期の枝梢管理方法 (2)休眠期の整枝・せん定 (3)カンキツの大苗育苗		
	2 結実管理			(1)人工受粉 (2)摘蕾、摘房、摘果 (3)施設栽培における枝吊り・玉吊り		
	3 施肥・地表面管理			(1)除草、しき草、シートマルチ (2)土壌改良、施肥		
	4 収穫販売			(1)収穫作業・選果 (2)校内販売		
	5 ハウス管理			(1)温度・水分管理 (2)施設管理(被覆、災害対策、補修)		
	6 園地管理			(1)移植・改植 (2)棚の整備・補修 (3)防災対策		
	7 校外研修			(1)県農業研究センター果樹研究所 (2)その他(優良果樹農家視察など)		
	成 績 評 価	知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 なお、実習への遅刻・早退・欠席、実習中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。				

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	コースゼミ(果樹)		教 官 名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定	20回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	経営実習を通じてプロジェクト課題の試験調査方法を理解させるとともに、卒業論文の作成方法について演習することにより論文の完成と発表力を習得させる。					
テーマ及び概要	試験研究機関の成果情報などを題材にして、論文の構成や文章の表現方法、調査手法やデータの整理方法などについて学習し、プロジェクト学習で栽培した果樹の特性や調査データの取りまとめおよび考察を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	県農業研究センター果樹研究所成果情報、フルーツ＆フルーツ(熊本県果実連) 大学生のためのレポート・論文の書き方					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 試験研究機関の研究成果			(1)研究成果の取りまとめ方 (2)研究の要約と発表		
	3 プロジェクト活動の課題設定			(1)プロジェクト活動設計書の作成		
成 績 評 価	【評価】出席状況(20%)、レポートやプリント等の提出および発表やレポートの評価(50%)、受講態度(30%)などにより総合的に評価する。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度 熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	常緑・落葉果樹栽培論Ⅰ・Ⅱ (7～3月)		教官名	清水那子	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定 (うち2回は定期試験を含む)	Ⅰ:12回 Ⅱ:12回
授業形態	講義・実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	本県で栽培されている主要な常緑果樹及び落葉果樹について、生理生態と生産技術を理解させる。					
テーマ及び概要	常緑果樹及び落葉果樹の栽培管理に必要な専門知識と栽培技術を習得させる。					
使用教材	①テキスト・教材 ・農学基礎セミナー 新版果樹栽培の基礎(農文協) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第一巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第二巻(改定第二版) ・ひと目でわかる果樹の病虫害 第三巻(改定第二版) ②参考文献 フルーツ＆フルーツ(熊本県果実連)					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 常緑果樹の栽培管理			(1)カンキツの種類・品種 (2)生育と栽培管理 (3)病虫害・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培		
成績評価	2 落葉果樹の栽培管理			(1)主要品種の栽培特性 (2)生育と栽培管理 (3)病虫害・生理障害 (4)出荷・販売と貯蔵・加工 (5)経営の特性と改善 (6)施設栽培・高品質果実栽培 ※(2)～(6)は主要品種ごとに講義する		
	定期考査(75%)+小テストの成績およびレポート・プリント等の提出(10%)+出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 なお、レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語および携帯電話(スマートフォン)使用は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	栽培経営実習(果樹)		教 官 名	野中 実	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授 業 形 態	講義及び実習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	各自が取り組むプロジェクトの品目について、観察や調査により基本的な栽培技術について知識を深めるとともに、天候の変化や病害中発生に対応した的確な栽培管理が行えるようにする。					
テーマ及び概要	農大内外のほ場において、果樹の栽培管理やほ場管理の基礎知識や基本技術を学ぶとともに、果樹栽培の経営能力を養う。 特に、プロジェクト研究における専攻樹種については重点的に管理技術の習得を行う。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	校内果樹園における栽培管理 農業機械や各種資材等を利用した管理実習					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 ほ場栽培管理			(1)ハウス管理 (2)ほ場および周辺の草生管理 (3)ほ場の施設整備 (4)気象災害対策		
	2 果樹栽培管理			(1)結実管理 (2)枝梢管理 (3)土壌管理、施肥 (4)整枝・せん定 (5)収穫・販売 (6)病虫害防除		
	3 プロジェクト研究指導			(1)プロジェクト研究の実施 (2)処理区の調査指導		
成 績 評 価	【評価】出席状況(40%)、レポート提出や履修態度(60%)などにより総合的に評価する。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	コースゼミ(果樹)		教 官 名	野中 実	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	10回
授 業 形 態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト課題の試験調査方法およびデータの取り扱いについて理解を深めるために、卒業論文の考察に必要な文献等の検索と引用をできるようにする。さらに、プロジェクト発表方法について演習することにより、聞く人にわかりやすい発表ができるようにする。					
テーマ及び概要	試験研究機関の成果情報などを題材にして、論文の構成や文章の表現方法、調査手法やデータの整理方法などについて学習し、プロジェクト学習で栽培した果樹の特性や調査データの取りまとめおよび考察を行う。 また、効果的なプレゼンテーション方法を演習により習得する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	県農業研究センター果樹研究所等研究成果情報、熊本の果樹					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
	2 調査資料のまとめ方			(1)調査データの記録と整理方法 (2)記録したデータの処理方法 1)パソコンを用いたデータ処理 2)グラフなどの図形作成 3)写真整理		
	3 試験研究機関の研究成果			(1)研究成果の要約と発表 (2)研究のまとめ方		
成 績 評 価	【評価】出席状況(20%)、レポートやプリント等の提出および発表やレポートの評価(50%)、受講態度(30%)などにより総合的に評価する。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	果樹経営論		教官名	野中 実	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(果樹)	
科目目標 (指導・到達目標)	本県の果樹経営における課題を理解させると共に、果樹経営における収益力の向上及び安定性の強化に向けた手法を理解させる。					
テーマ及び概要	本県における果樹経営の特徴・課題と、果樹振興施策の狙いを理解する。 果樹経営の発展や安定強化のための経営戦略とマーケティングの考え方、流通環境並びに消費者意識の動向を把握する。					
使用教材						
①テキスト・教材	熊本県農業経営指標(熊本県発行)					
②参考文献	農業技術大系、農林水産省発行パンフレット、各種Webサイト資料等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 果樹経営の特徴			(1)果樹経営の特徴 (2)県指標に見る品目別経営収支		
	2 経営分析の基礎的な考え方			(1)経営分析の流れ (2)前提条件の把握 (土地条件、土地利用体系、栽培方法、 品種構成、機械化・施設装備、その他) (3)月別作業労働時間 (4)経営収支		
	3 経営改善のための様々な手法			(1)省力、低コスト栽培技術 (2)高収量、高品質栽培技術 (3)加工および直販など		
成績評価	【評価】定期考査(75%)、レポート・プリント等の提出(10%)、出席状況や受講態度(15%)などにより総合的に評価する(100点満点)。 【注意】レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語、携帯電話(スマートフォン)の使用については減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	栽培経営実習(野菜)		教官名	吉田達雄、鍋田宗貴	
	履修学年	1年	単位数	15単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習形式・販売・コース別研修・栽培当番・加工・機械・農業の新技术			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	実習によって、野菜の栽培技術の基本について学習し、プロジェクト学習が実施できるような技量を身につける。また、試験研究の進め方の重要性を習得し、秋作からは本格的なプロジェクト課題を設定し、実施する。コース別研修では、最新の栽培技術等について現地研修を行う。栽培当番は土日祝日の栽培管理を当番制で行う。加工・機械・農業の新技术は別途通知。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本の野菜					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)メロン (2)スイカ (3)トマト (4)イチゴ (5)スイートコーン(6)タマネギ (7)オクラ (8)バレイショ		
	2 試験研究の進め方 (プロジェクト学習)			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データの処理 (5)結果取りまとめ (6)考察		
	3 生産物販売			(1)各種野菜の選果方法及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
	4 コース別研修			(1)熊本県農業研究センター視察 (2)現地視察		
	5 栽培当番			(1)かん水当番 (2)ハウス内環境調査記録 (3)トンネル開閉など		
成績評価	知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する。(100点満点)ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	コースゼミ(野菜)		教官名	吉田 達雄・鍋田 宗貴	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定	20回
授業形態	講義および演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習における成果のとりまとめおよび発表の能力を高める。					
テーマ及び概要	自分が栽培した野菜の特性やプロジェクト成果について発表し、質疑応答を通じて、研究課題を掘り下げて考察する。 同時に、効果的でわかりやすい発表方法を習得する。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本の野菜, 新版理系のためのレポート論文完全ナビ					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	I 栽培に取り組んだ野菜の特性について			(1) 作型と主要品目(県内での栽培状況) (2) 性状と生育特性 (花芽分化・休眠・肥大特性) (3) 栽培管理・病虫害防除・発生しやすい生理障害と対策 (4) 栄養成分・機能性・用途		
成績評価	II プロジェクト学習の成果とりまとめ手法について			(1) 課題および目的 (2) 各種調査のふりかえり 供試作物(品種)・試験区内容・施肥量・耕種概要・栽培の経過 (3) 調査結果に基づく図表作成について 生育調査・収量調査・品質調査 (4) 理系論文形式のポイント (5) 中間発表 (6) 参考資料の探し方と活用法、考察		
	出席状況、発表や質疑応答への参加状況、中間報告・発表の内容 注意事項: 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜栽培各論Ⅰ		教官名	鍋田 宗貴	
	履修学年	1年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式、セルフワーク			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の栽培に必要な知識を習得させ、野菜の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力を育てる。					
テーマ及び概要	各種野菜について、①来歴、②形態及び生理・生態的特性、③品種・作型、④栽培管理方法などについて学習する。 各論Ⅰでは、野菜の中でも熊本県の主要野菜(トマト・スイカ・メロン・イチゴ・ナス)の5品目について理解を深める。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	野菜栽培の基礎(農山漁村文化協会) 熊本の野菜					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 トマトの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	2 イチゴの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	3 メロンの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	4 スイカの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
	5 ナスの品目的特徴			(1) 来歴 (2) 形態及び生理・生態的特徴 (3) 品種・作型 (4) 栽培管理方法		
成績評価	評価割合:講義出席状況(3分の2以上の出席のないものは成績評価の対象にしない)、講義への取り組み状況(10%)、ノート提出内容(10%)、定期試験(80%) 注意事項:ノートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特に、スマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	栽培経営実習(野菜)		教 官 名	永井 泰弘・梶山 幹司	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授 業 形 態	実習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	野菜の基本的な栽培管理技術や選果方法、消費状況の把握などをプロジェクト学習で行い、経営感覚を育てる。					
テーマ及び概要	野菜の栽培管理やプロジェクト学習をとおして、基本的な栽培管理技術や選果方法、消費状況の把握、試験研究の進め方の重要性及び経営感覚の習得を図る。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本の野菜					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 栽培管理技術の習得			(1)アールスメロン (2)スイカ (3)トマト (4)ミニトマト (5)ナス (6)イチゴ (7)キュウリ (8)ピーマン など		
	2 試験研究の進め方 (プロジェクト学習)			(1)試験設計 (2)栽培計画 (3)各種調査 (4)調査データ処理 (5)結果とりまとめ(図表作成) (6)考察		
	3 生産物販売			(1)各種野菜の選果方法及び包装 (2)消費・販売状況の把握		
成 績 評 価	出席状況(40点)、履修態度(30点)、修得技術・レポート等(30点) 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	コースゼミ(野菜)		教 官 名	永井 泰弘・梶山 幹司	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定	10回
授 業 形 態	講義および演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習における成果のとりまとめおよび発表の能力を高める。					
テーマ及び概要	自分が栽培した野菜の特性やプロジェクト成果について発表し、質疑応答を通じて、研究課題を掘り下げて考察する。 同時に、効果的でわかりやすい発表方法を習得する。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	卒業論文の手引き、熊本の野菜 卒業論文					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	I 論文作成の基礎知識			(1)論文の構成とまとめ方 (2)論文の書き方		
講義スケジュール	II プロジェクト学習の 成果とりまとめ手法について			(1)課題および目的 (2)各種調査のふりかえり 供試作物(品種)・試験区内容・施肥量・ 耕種概要・栽培の経過 (3)調査結果に基づく図表作成について 生育調査・収量調査・品質調査 (4)論文形式のポイント (5)中間発表 (6)参考資料の探し方と活用法、考察		
成 績 評 価	出席状況、発表や質疑応答への参加状況、中間報告・発表の内容 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要(シラバス)

講義科目	科目名	野菜経営論		教官名	永井 泰弘・相山 幹司	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義及び演習			実務経験内容	普及指導員(野菜)	
科目目標 (指導・到達目標)	経営の内容を把握する能力を育てる。					
テーマ及び概要	野菜に係る必要経費が把握でき、儲かる野菜経営を目指す視点を得る。 プロジェクトに係る経営について学び、まとめることができる。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	熊本県農業経営指標					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 野菜に係る経営概況			(1)熊本県の主要品目の概況 (2)農業生産状況 (3)必要な経費の状況		
	2 プロジェクトに係る経営概況			(1)作付けの状況 (2)耕作面積 (3)作付体系 (4)月別労働時間(作物別) (5)作物別生産経費 (6)農業施設・農業機械の整備状況 (7)作物別農業所得 (8)農業経営の問題点把握		
成績評価	講義出席状況(30点)、演習での取組状況(30点)、レポートの内容(40点) 注意事項:講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォンなど)の使用は減点する。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	畜産経営実習(酪肉共通)		教官名	山下 智 角崎 智洋	
	履修学年	1年	単位数	15単位	講義回数予定	通年
授業形態	講義形式・実習			実務経験内容	人工授精師 普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜に関する実践的な学習を通じ、総合的な生産技術や知識を習得させる。このことから、経営と飼養管理技術が深まり、管理能力や課題への適応能力を身につけることができる。					
テーマ及び概要	乳用牛及び肉用牛の飼養管理やプロジェクト学習をととして、繁殖・育成技術、肥育技術を学び、より実践的な経営技術を修得する。					
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各教科テキスト					
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	1 JGAP(家畜・畜産物)の飼養管理			(1)JGAP認証農場における飼養管理		
	2 牛の飼養管理技術			(1)牛への接近と接触・捕獲・保定 (2)乳用牛の飼養管理技術・日常作業 (3)乳用牛の飼養管理技術・定期作業 (4)乳用牛の飼養管理技術・不定期作業 (5)肉用牛の飼養管理技術・日常作業 (6)肉用牛の飼養管理技術・定期作業 (7)肉用牛の飼養管理技術・不定期作業		
	3 牛の登録・審査			(1)乳用牛の見方・登録・審査 (2)肉用牛の見方・登録・審査		
	4 牛の繁殖管理技術			(1)牛の雌雄生殖器解剖 (2)発情発見・鑑定 (3)直腸検査 (4)人工授精 (5)妊娠鑑定 (6)分娩管理		
	5 粗飼料生産と貯蔵技術			(1)飼料の植え付け (2)圃場管理 (3)収穫とサイレージ調製		
	6 家畜糞尿処理技術			(1)堆肥化処理技術 (2)活性汚泥法		
	7 畜産経営管理技術			(1)酪農経営管理技術 (2)肉用牛の経営管理技術		
	8 プロジェクト学習			(1)課題設定と研究目的 (2)計画作成と期限設定 (3)調査研究項目の検討 (4)データの収集と整理 (5)データの分析と検討		
	成績評価	知識・技術、履修態度、出席状況により総合的に評価する。 ただし、出席率が90%未満の者は評点を0点とする。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講義科目	科目名	コースゼミ(畜産)		教官名	山下 智 角崎 智洋	
	履修学年	1年	単位数	2単位	講義回数予定	20回
授業形態	講義			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト活動の課題を決め、試験設計ができるようになるとともに、卒業論文作成に必要な論理的な考え方ができるようになる。					
テーマ及び概要	1 プロジェクト活動の課題設定及び試験設計の方法の習得 2 論文とはどのようなものか理解し、論文の構成を知る 3 論文を読み、卒業論文の作成力をつける					
使用教材	プロジェクト活動に関する資料 試験設計に関する資料 卒業論文他 他 卒業論文の手引き					
①テキスト・教材						
②参考文献						
講義 スケジュール	大項目			小項目		
	＜酪肉共通＞					
	1 プロジェクト学習について			(1)プロジェクト学習について (2)課題の設定方法(動機及び目的) (3)試験方法について (4)調査方法について (5)結果及び考察について(図表作成等)		
	2 試験設計の方法について			(1)試験設計とは (2)試験設計の方法 (3)試験設計書の作成		
	3 論文の理解			(1)論文の検索 (2)農論文の読解		
	4 データの整理			(1)調査項目データの取り扱いについて (2)写真等記録の収集について		
	＜酪農コース＞					
	1 牛群検定について			(1)牛群検定の仕組み (2)データの見方と活用法		
	2 乳用牛のゲノミック解析について					
	＜肉用牛コース＞					
	1 和牛の血統系統について			(1)種雄牛の系統について (2)雌牛の優良系統について		
	2 和牛のゲノミック解析について					
成績評価	評価:出席状況や講義態度(30%)、質疑応答等による各項目の理解度(30%)、試験設計書等提出物(40%)により総合的に評価する(100点満点)。 注意:設計書等の未提出、講義への欠席・遅刻・早退、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)での通話は減点とする。特に、携帯電話(スマートフォン)の使用については、注意に従わない場合は欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	家畜飼養管理・栄養学		教 官 名	山下 智 北浦 日出世	
	履修学年	1 年	単位数	1 単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12 回
授 業 形 態	講義形式			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜飼養管理に関する基礎的な学習を通じ、畜産物の生産技術や家畜の環境に対する適応性等の知識を修得させ、飼養管理技術と課題への適応能力を身につける。 家畜栄養に関する基礎的な学習を通じ、生産技術や栄養計算の知識を習得させ、飼養管理技術と課題への適応能力を育成させる。					
テーマ及び概要	家畜の適切な飼養管理技術及び乳牛・肉用牛に必要な飼料給与の基本を習得させる。					
使 用 教 材	家畜の繁殖・人工授精講習会テキスト、日本飼料標準(乳牛・肉用牛)、配布資料 畜産関係文献					
①テキスト・教材 ②参考文献						
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	家畜飼養管理					
	1 牛に対する環境の影響			(1)環境温度による家畜の反応 (2)牛の適温域 (3)牛の体感温度		
講義スケジュール	2 牛の管理施設の種類と特長 その1			(1)乳用牛 ①哺乳牛 ②育成牛 ③つなぎ飼い牛舎 ④フリーストール牛舎 ⑤フリーバーン ⑥乾乳牛		
	3 牛の管理施設の種類と特長 その2			(2)肉用牛 ①繁殖牛 ②育成牛・肥育牛		
	4 牛の飼養管理			(1)乳牛 (2)肉用牛		
	栄養					
	1 家畜に必要な栄養			栄養と栄養素		
	2 栄養素と役割			(1)5大栄養素 ①タンパク質 ②炭水化物 ③脂質 ④ビタミン ⑤無機物		
	3 家畜による栄養素の利用			(1)消化と吸収 (2)代謝		
	4 飼料の栄養価			(1)飼料とその一般成分 (2)可消化成分・エネルギー・蛋白質		
	5 飼養標準の活用			(1)乾物摂取量 (2)飼料計算		
	成 績 評 価	評価: 定期試験成績＋講義の出席状況および履修態度により評価する。 注意: レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和6年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	畜産経営実習（酪農）		教官名	北浦 日出世	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授業形態	実習形式			実務経験内容	研究員・普及指導員（畜産）	
科目目標 （指導・到達目標）	乳牛の飼養管理や粗飼料生産、ふん尿処理等の実習を通じて、酪農全般に関する知識・技術を修得させる。また、各自課題解決のためのテーマを設定し、プロジェクト学習に取り組む。					
テーマ及び概要	乳牛の哺育から分娩・搾乳等の各ステージにおける飼養管理や粗飼料生産、ふん尿処理等酪農全般に関する知識・技術を学習する。					
使用教材						
①テキスト・教材	各教科テキスト					
②参考文献	畜産関係文献、各種Webサイト資料等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 乳用牛の飼養管理技術			(1)粗飼料の分析と飼料給与計算 (2)搾乳牛及び乾乳牛の栄養管理 (3)育成牛及び哺乳牛の栄養管理 (4)牛体の手入れ （削蹄、除角、耳標付け等） (5)分娩管理		
	2 搾乳衛生			(1)正しい搾乳技術と衛生管理 (2)乳房炎の予防と管理		
	3 繁殖管理技術			(1)発情鑑定と直腸検査 (2)人工授精		
	4 粗飼料生産と貯蔵技術			(1)トウモロコシ栽培、サイレージ調製作業 (2)イタリアンライグラスの乾草調製作業		
	5 酪農経営管理技術			(1)乳成分及び細菌数、体細胞数と乳価		
	6 家畜糞尿処理技術			(1)堆肥舎における堆肥の切り返し技術 (2)戻し堆肥の活用		
	7 プロジェクト学習			(1)進捗管理 (2)データ収集		
	成績評価	評価：知識・技術（30点）、履修態度（30点）、出席状況（40点）により総合的に評価する。（100点満点）ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意：レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話（スマートフォン）の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。				

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	畜産経営実習(肉用牛)		教 官 名	森 将臣	
	履修学年	2年	単位数	27単位	講義回数予定	通年
授 業 形 態	実習形式			実務経験内容	獣医師	
科目目標 (指導・到達目標)	肉用牛の飼養管理や飼料生産等の実習を通じ、家畜に関する基本的な知識や技術を修得させる。また、各自課題解決のためのテーマを設定し、プロジェクト学習に取り組む。					
テーマ及び概要	肉用牛の飼養管理やプロジェクト学習を通して、繁殖・肥育牛管理、特に、栄養管理の重要性及び経営感覚の習得を図る。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 肉用牛の飼養と繁殖の管理技術			(1)肉用牛の飼料計算 ア 繁殖牛におけるエネルギー充足率 イ 肥育牛におけるエネルギー充足率 ウ 哺育, 育成牛におけるエネルギー充足率 (2)飼料調製・給与 ア 繁殖牛の飼養管理 イ 肥育牛の飼養管理 ウ 哺育, 育成牛の飼養管理 (3)牛の手入れ ア 削蹄, 除角 (4)分娩管理 (5)牛のBCSの見方 (6)発情鑑定 (7)直腸検査		
	2 粗飼料生産と貯蔵技術			(1)イタリアン乾草調製 (2)圃場管理		
	3 肉用牛経営管理技術			(1)肉用牛測尺・測重 (2)牛舎の管理 (3)機械器具の保守点検		
	4 家畜糞尿処理技術			堆肥化処理技術		
	5 繁殖牛の見方			(1)繁殖牛の審査 (2)繁殖牛の見方		
	6 プロジェクト学習					
	評価:知識・技術(30点)、履修態度(30点)、出席状況(40点)により総合的に評価する(100点満点)。ただし、出席率が90%未満の者は成績評価の対象にしない。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和6年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	コースゼミ(畜産)		教 官 名	森 将臣 北浦 日出世	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定	10回
授 業 形 態	講義及び全体討議			実務経験内容	普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	プロジェクト学習を通じて、自ら課題を設定し問題解決のための取り組みと検討を行うことにより、PDCAの手法を身につける。					
テーマ及び概要	プロジェクト研究を通して、経営の中で解決できる課題の設定と検討を行うことにより、より専門的な経営技術を学ぶ。 学習は個別学習と発表、全体討議による。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各講義で使用するテキストと教材 畜産関係文献					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 プロジェクト学習について			(1)データの収集と整理 (2)データの分析と検討 (3)考察の方法 (4)結論の導き方 (5)今後の課題の整理と展開		
	2 全体討議			(1)発表スライド及び発表原稿の作成 (2)成果発表と討議		
成 績 評 価	評価:出席状況及び態度、提出物により総合的に評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	家畜衛生論		教 官 名	森 将臣	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授 業 形 態	講義形式・プロジェクター(パソコン)・DVD			実務経験内容	獣医師・家畜防疫員	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜の飼養管理における伝染病予防の重要性を理解させるとともに、生産性向上に向けた衛生管理対策の基礎知識を習得させる。					
テーマ及び概要	安定的な畜産物生産のため、家畜伝染病の概要と予防について理解するとともに、食品の安全性確保のため、生産段階における飼養衛生管理の重要性について学習する。					
使 用 教 材						
①テキスト・教材	家畜衛生の教科書、飼養衛生管理基準に関する資料					
②参考文献	家畜衛生に関する文献や資料					
講義スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 疾病の種類、家畜衛生の歴史について			(1)疾病の分類		
				(2)家畜衛生の歴史		
	2 国内家畜防疫、国際家畜防疫について			(1)家畜伝染病予防法		
				(2)国際防疫		
	3 飼養衛生管理基準について			(1)飼養衛生管理基準		
	4 HACCP、GAPについて			(1)農場HACCP		
				(2)畜産GAP		
	5 消毒について			(1)消毒の目的		
				(2)消毒の種類		
	6 ワクチンについて			(1)ワクチンの効果		
				(2)家畜用ワクチンとワクチネーションプログラム		
	7 放牧衛生について			(1)放牧の管理、衛生、疾病		
8 乳肉衛生について			(1)搾乳の仕組みと搾乳衛生			
			(2)と畜検査と食肉衛生			
9 口蹄疫について			(1)口蹄疫とは			
			(2)口蹄疫に対する防疫			
10 牛伝染性リンパ腫について			(1)牛伝染性リンパ腫とは			
			(2)牛伝染性リンパ腫に対する防疫			
11 高病原性鳥インフルエンザ、 豚熱について			(1)高病原性鳥インフルエンザに対する防疫			
			(2)豚熱に対する防疫			
成 績 評 価	評価:定期考査(80%)、講義の出席状況や講義態度(20%)などにより総合的に評価する。 注意事項:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和6年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講義科目	科目名	飼料作物学		教官名	北浦 日出世	
	履修学年	2年	単位数	1単位	講義回数予定 (うち1回は定期試験を含む)	12回
授業形態	講義形式			実務経験内容	研究員・普及指導員(畜産)	
科目目標 (指導・到達目標)	飼料作物の草種毎の特性、栽培方法に必要な基礎知識を理解させ、地域に適合した合理的な栽培技術を修得させる。					
テーマ及び概要	飼料作物の種類や特性、栽培・利用方法等の基本と自給飼料生産の意義を学習する。					
使用教材						
①テキスト・教材	配布資料					
②参考文献	畜産関係文献、各種Webサイト資料等					
講義スケジュール	大項目			小項目		
	1 飼料作物と畜産			世界及び日本における飼料作物の現状 飼料に関する法令		
	2 飼料作物の種類 その1			(1)飼料作物の分類		
	3 飼料作物の種類 その2			(1)青刈作物 (2)栽培方法		
	4 飼料作物の種類 その3			イネ科牧草の種類と特性		
	5 飼料作物の種類 その4			(1)マメ科牧草の種類と特性 (2)マメ科飼料作物の共生窒素固定		
	6 飼料作物の種類 その5			飼料作物の栄養生理		
	7 飼料作物の利用 その1			サイレージ ア サイレージの飼料的特性 イ サイレージの調製法 ウ サイレージの品質評価		
	8 飼料作物の利用 その2			乾草 ア 乾草の飼料的特性 イ 乾草の調製法 ウ 乾草の品質評価		
	9 飼料作物の利用 その3			放牧 ア 放牧の種類 イ 放牧の特徴 ウ 放牧の実際		
成績評価	定期試験成績＋講義の出席状況および履修態度により評価する。 注意:レポートやプリントの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語及び携帯電話(スマートフォン)の使用は減点とする。特にスマホの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	食 品 加 工 実 習		教 官 名	松 本 鮎 美 岩 木 秀 生	
	履修学年	1学年	単 位 数	—	講義回数予定	各コースごと7回
授 業 形 態	実習、現地事例研修			実務経験内容	普及指導員（農産物利活用）	
科目目標 （指導・到達目標）	加工実習を通して農産物の特徴や活かし方を理解させ、食関連ビジネスへの関心と興味を高める。					
テーマ及び概要	農大生産物を活用した加工実習を通して、生産物の特性や品質に対する関心を高める。生産物が加工技術により、形や物性を変える面白さを体験させる。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	担当教官作成テキスト					
講義 スケジュール	大 項 目(素材)			小 項 目		
	1 野菜類の加工			(1)トマトのジュース・ピューレ・ソース・ケチャップ (2)いちごジャム (3)焼肉のたれ・ドレッシング		
	2 果実類の加工			(1)梨ゼリー (2)柑橘のゼリー (3)果実の一次加工（加糖冷凍梨、梅ピューレ）		
	3 穀類の加工			(1)小麦粉の発酵と焼成（ピザ・パン等） (2)焼き菓子（スコーン等）		
	4 乳・畜肉加工			(1)アイスクリーム (2)ベーコン（畜産学科のみ）		
	5 現地事例研修			県内農業法人、観光農園等の取り組み視察		
	成績評価					
・当該実習は、経営実習の時間で行う。 ・当該実習分の評価は、出席状況（40％）＋知識技術（30％）＋履修態度等（30％）により、総合的に評価する（100点満点）。 ・当該実習の出席率が80％未満のものは、出席状況の配点を0点とする。 ・注意：レポートの未提出、講義への遅刻・早退・欠席、実習中の怠慢、私語等は減点とする。特に、スマートフォン、イヤホンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。 ・科目担当教官は、当該実習分の評価を担当に渡し、担任は、経営実習や農家派遣研修と合算し、「経営実習」として最終的に評価する。						

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要（シラバス）

講 義 科 目	科 目 名	食品加工実習		教 官 名	松本 鮎美 岩木 秀生	
	履修学年	2学年	単位数	-	講義回数予定	11回
授 業 形 態	実習、講義			実務経験内容	普及指導員（農産物利活用）	
科目目標 （指導・到達目標）	農業の6次産業化に対応できる人材育成を目的に、自ら生産した農産物を活用した加工食品の商品開発・製造・販売に関する実践学習を行う。					
テーマ及び概要	(1)農大農産物を使った商品企画と製造実習 (2)プロジェクト課題(卒論)とリンクした新商品開発や加工特性調査 (3)企業等との連携による6次産業化実践学習					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	担当教官作成テキスト					
講義 スケジュール	大 項 目(素材)			小 項 目		
	1 農大農産物を使った商品企画と製造実習・販売			(1)菓子・ソース類・ジェラート等の加工 ア 野菜類の加工 トマト・いちご等 イ 穀類加工 小麦・米粉 ウ 果実類の加工 梅・梨・桃・不知火・晩柑等 エ 乳加工 牛乳・バター・ヨーグルト (2)消費者との交流を目指した販売実習 農大マルシェ・黒石原祭		
	2 プロジェクト課題(卒論)とリンクした新商品開発や加工特性調査			(1)加工を含むプロジェクト課題を設定している学生を対象とした個別指導		
	3 県内企業等との連携による6次産業化実践学習			(1)企業等の講義・交流 食品企業技術者等による実技指導		
成 績 評 価	注意:レポート等の未提出、講義への遅刻・早退・欠席、実習中の怠慢、私語は減点とする。特に、スマートフォン、イヤホンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科 目 名	農 業 機 械 応 用 実 習 (Ⅰ・Ⅱ)		教 官 名	堀 孝弘 後藤 洋一郎 沢田 明雄 重松 修	
	履修学年	2学年 (希望制)	単 位 数	単位なし (経営実習扱い) Ⅰのけん引免許 取得者は 加算単位1	講義回数 (2項目)	実習Ⅰ:3回 実習Ⅱ:2回
授 業 形 態	実習形式(2項目)					
科目目標 (指導・到達目標)	実習Ⅰ: 農耕用けん引車で道路交通法に基づいた安全走行ができ、免許が取得できる。 実習Ⅱ: 小型単体エンジン(ガソリン・ディーゼル)の分解・組立整備と工具等の取扱いができる。					
テーマ及び概要	乗用トラクタの応用操作として、大特免許取得者に農耕用けん引車で路上走行をする際の安全な運転操作技術を習得させ、けん引(農耕車限定)免許を取得させる。 また、農業機械整備の応用として、多くの農業機械の動力源であるエンジン(ガソリン・ディーゼル)の構造と構成部品の働きを理解するとともに、各種工具類・点検測定用器具の使用方法を習得させ、農業機械の整備作業に慣れることで、就農・就職時の実践力を高める。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	乗用トラクタ及び運搬トレーラ、小型単体エンジン(ガソリン/ディーゼル)・交換部品、点検・整備用工具、燃料(ガソリン・軽油・灯油・BDF)、各種エンジンオイル等、ウエス、カットエンジン、パソコン、プロジェクター、マイク等					
講義 スケジュール	大 項 目			小 項 目		
	1 農業機械応用実習Ⅰ (農作業安全講座:けん引) 3回開催(各5日、※水曜日終日) (1)6月16日(月)～20日(金) (2)9月1日(月)～5日(金) (3)11月17日(月)～21日(金)			(1)けん引車の基本操作、乗降車・始動手順等 (2)けん引車による後進、方向転換(車庫入れ) (3)道路交通法に基づいたコース走行 (4)けん引車(農耕用)走行中の安全確認 (5)安全かつ円滑な走行(模擬試験) (6)適性試験(視力・深視力等) (7)実技試験(けん引免許検定試験)		
成 績 評 価	2 農業機械応用実習Ⅱ (エンジン分解・整備) ただし、選択希望制 G.空冷ガソリンエンジン 2回開催(各2日、※水曜日終日) (G.ガソリン2回) 5月13日(火)、14日(水)終日 7月9日(水)、10日(木)終日(予備日)			(1)エンジン(ガソリン)のしくみ (2)工具・測定器具の種類と取扱い方法 (3)エンジンの分解・各部品の洗浄 (4)排気量、吸排気弁頭すき間等の計測 (5)エンジンの組立・調整 (6)燃料(ガソリン・軽油・灯油・BDF)の取扱い (7)エンジンオイルの特徴、機能について (8)エンジン始動・停止確認 (9)ガバナ及びスロー調整		
	実技試験 実習Ⅰ: けん引(農耕車限定)免許検定試験(免許センターによる出張試験) 携帯電話(スマートフォン)の使用は厳禁とする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科目名	農業の新技术(GAP,IoT) 《経営実習内で実施》		教官名	月田(1年農特産)、清水(1年果樹)、 三橋(1年花き)、吉田・鍋田(1年野菜)、作 本、堤		
	履修学年	1年 農産園芸学科 野菜学科	単位数	経営実 習の内 数	講義回数予定 (定期試験は実施しない)	9回	
授 業 形 態	講義形式(一部現場)、実演学習			実務経験内容		普及指導員等	
科目目標 (指導・到達目標)	GAPやスマート農業についての理解を深め、新しい農業生産技術と経営感覚を兼ね備えた人材として 必要な資質・能力の向上に資する。						
テーマ及び概要	【GAP】 基礎知識を学ぶとともに、農大の農作業環境での問題点探索と改善を学生自ら実践する。 また、事例研究を行い、県内のGAP推進の状況を知る(計4回)。 【スマート農業】 環境制御、IoTに関する基礎、必要性、役割を知る(計5回)。						
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	教官・講師による資料又はパワーポイント資料						
講義 スケジュール	※講義及び講演、実演・実習の学習内容の予定について下記に示す。各学科の経営実習時間を調整 して実施するため、日程は変更の可能性あり。						
	回	月日 (予定)	時限	内 容	授業 形態	場 所	担 当
	1	6/4	③	概要説明、GAPⅠ(知識)	講義	CR6	野菜1年担任
	2	6月(各 コース で)	③	GAPⅡ(知識・課題発見) 【現地見分:グループ毎】	講義 実習	各コース	各コース担任
	3		③	GAPⅢ事例研究) 【現地見分:グループ毎】	講義 実習	各コース	各コース担任
	4	7/16	③	GAPⅣ(事例発表)	講義	視聴覚室	各コース担任
	5	9/24	③	IoTⅠ(土地利用型作物:栽培管 理支援システム等の利用)	講義 実習	視聴覚室等	外部講師(農業団体 等) 農産園芸学科
	6	10/23	③	IoTⅡ(土地利用型作物:スマー ト農業の基礎、スマート農業機 械等実演)	講義 実習	視聴覚室 グラウンド	外部講師(クボタ) 農特産1年担任
	7		④				
	8	9/3	③	IoTⅢ(花き)	講義 実習	視聴覚室	外部講師(システムフォレスト) 花き1年担任
	9	12/10	③	環境制御(施設野菜)	講義	CR6	野菜1年担任
成 績 評 価	【評価のめやす】 レポート(提出物)(70%)、出席状況+講義態度(30%) 【注意事項】 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンの使用につい ては、注意に従わない場合、欠席扱いとする。						

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科目名	農業の新技术Ⅰ（GAP,スマート農業） 《経営実習内で実施》		教官名	山下 智 角崎 智洋	
	履修学年	畜産学科1年	単位数	経営実習の内数	講義回数予定 （定期試験は実施しない）	10回
授 業 形 態	講義、実習		実務経験内容		普及指導員等	
科目目標 （指導・到達目標）	GAPやスマート農業についての理解を深め、新しい農業生産技術と経営感覚を兼ね備えた人材として必要な資質・能力の向上に資する。					
テーマ及び概要	【GAP】 畜産における生産工程管理の概要と目的 【スマート農業】 畜産におけるスマート農業機器の種類と目的					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	教官・講師による資料又はパワーポイント資料					
講義 スケジュール	※経営実習時間を調整して実施					
	大項目			小項目		
	1 畜産における生産工程管理			(1)HACCPの概要 (2)GAPの概要 (3)畜産JGAPについて (2)JGAP維持チームとしての点検 (5)JGAP認証農場生産物販売について		
	2 畜産におけるスマート農業機器			(1)畜産におけるスマート農業の種類 (2)繁殖関係ICT機器の目的と特徴 (3)酪農関係ICT機器の目的と特徴 (4)飼料関係スマート機器の目的と特徴		
成 績 評 価	【評価のめやす】 レポート（提出物）（70%）、出席状況＋講義態度（30%） 【注意事項】 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					

令和7年度熊本県立農業大学校 講義科目概要 (シラバス)

講 義 科 目	科目名	農業の新技术Ⅱ（高度繁殖技術） 《経営実習内で実施》		教官名	森 将臣 北浦 日出世	
	履修学年	畜産学科2年	単位数	経営実習の内数	講義回数予定 (定期試験は実施しない)	10回
授 業 形 態	講義、実習		実務経験内容		獣医師等	
科目目標 (指導・到達目標)	家畜人工授精講習会修了後に実践的な技術研修を重ね、卒業後の就農直後からの即戦力となるような牛繁殖技術者を育成する。					
テーマ及び概要	家畜人工授精講習会における合格者は、人工授精師としての資格は取得するものの、卵巢所見や人工授精の技術者としてはまだまだ未熟である。そこで、講習後、技術レベル別(卵巢所見主体研修、人工授精主体研修、基礎確認研修)に分け、関係機関と連携のもと、年間数回、より実践的な技術研修を実施し、高度繁殖技術者の育成を図る。					
使 用 教 材 ①テキスト・教材 ②参考文献	教官・講師による資料又はパワーポイント資料					
講義 スケジュール	※経営実習時間を調整して実施					
	大項目			小項目		
	1 基礎確認研修			(1)I基礎技術の確認 (2)基礎技術の実践訓練		
	2 受胎率向上研修			(1)人工授精技術の確認 (2)人工授精の実践訓練 (3)深部注入器を使用した高度AI実践		
	3 総合所見判定研修			(1)卵巢所見記録法確認 (2)卵巢所見実践訓練		
成 績 評 価	【評価のめやす】 レポート(提出物)(70%)、出席状況＋講義態度(30%) 【注意事項】 講義への遅刻・早退・欠席、講義中の居眠り、私語は減点とする。特に、スマートフォンの使用については、注意に従わない場合、欠席扱いとする。					